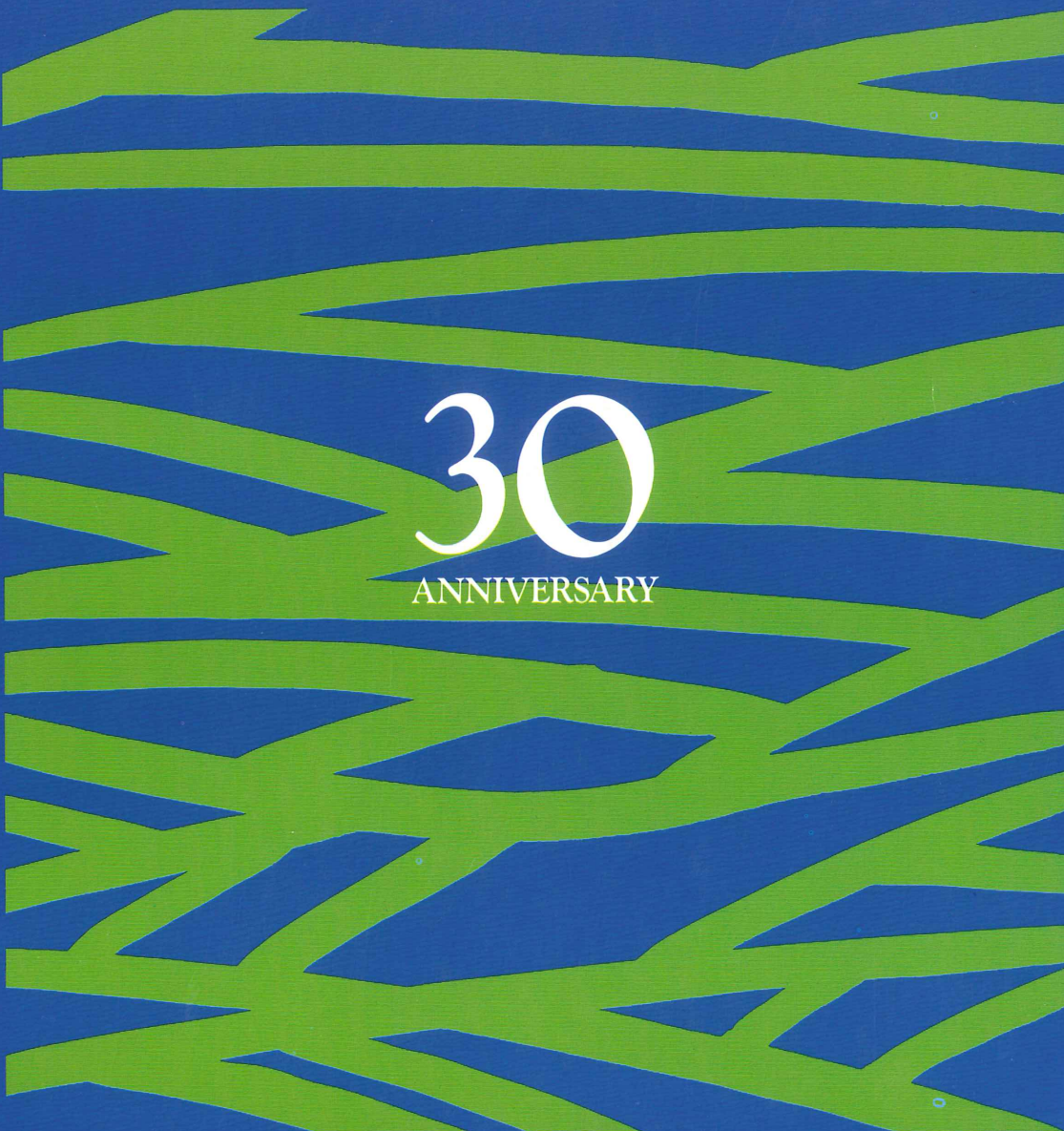


八代経済同友会30周年記念誌

An abstract graphic design consisting of numerous thick, green, wavy, and jagged lines that overlap and interweave, creating a complex, organic pattern. The lines vary in thickness and direction, some flowing horizontally while others curve or zigzag. The overall effect is reminiscent of stylized waves, roots, or perhaps a dense thicket of foliage. The design is centered on the page, framing the central text.

30

ANNIVERSARY

1993



鵬 鷗

八代経済同友会30周年記念誌

目 次

● 30周年代表幹事あいさつ（潮 弘）	1
● 祝 辞（熊本県知事 福島譲二）	2
（八代市長 沖田嘉典）	3
（八代商工会議所会頭 岡本圭右）	4
（熊本経済同友会代表幹事 長野吉彰）	5
● 30周年実行委員長あいさつ（濱 大八郎）	6
● 30年のあゆみ パート1	7
● 30年のあゆみ パート2	19
● 30周年記念事業	
イースタンリーグ公式戦	41
記念式典・記念祝賀会	42
自主制作番組	43
八代街づくりシンポジウム	44
記念講演会	45
● アンケート調査結果	47
● 30周年実行委員会組織図	54
● 会員名簿	56
● 資料編（会則・陳情書等）	72

30周年代表幹事 あいさつ



八代経済同友会代表幹事
潮 弘

私達は、今この記念誌発刊により、本年迎えました八代経済同友会創立 30 周年記念事業の全てに幕を下ろします。思い起こせば長かったようでもあり、また短かったようでもあるこの一年間、会員の皆様方には記念事業の遂行に当たり絶大なるご協力を頂きました。厚く感謝申し上げますとともに、御礼申し上げます次第でございます。

同友会は、昭和 38 年に発足しました八代地域開発研究会、八代市産業開発研究会をその母体として、両会の合同により現在の姿となりましたが、その間多くの先輩会員の皆様方のご努力によりここまで大きく成長致して参りました。同友会の足跡を振り返りますと、先輩会員の皆様方には歴代代表幹事の方々を中心として、その時代時代に即した実に貴重な多くの活動を行って来ました。その活動が現在の同友会の礎となった訳であり、これまでの先輩諸氏のご努力に感謝の意を表するとともに、この礎を更に強固なものとして 40 周年、50 周年へ向けて継続させる事を、ここにお約束申し上げるものでございます。

また同友会は、経済活動を中心とした地域開発の推進と、地場企業の振興を図る事をその活動目的に謳っておりますが、残念ながら組織としてはまだまだ未熟な点が多々残されております。それにもかかわらずこれまで曲りなりにも成果を上げて参りましたのは、国、県、市を始めとする多くの関係官庁の皆様方のご指導、或いは熊本経済同友会を筆頭に各経済団体のお導きによるものであり感謝の念

に絶えません。厚く御礼申し上げます。

いま日本は、バブルの崩壊により深刻な不況を迎えております。また希に見る異常気象は農作物に甚大な被害を与え、日本経済は更に悪化の方向へと進んでおります。その一方で自社両党による 55 年体制が脆くも崩れ、連立政権の樹立と自民党の下野が起きました。私たち熊本県民にとりましては、たいへん喜ばしい細川首相の誕生ではございますが、現在の日本は政財界ともに難問山積の状況であります。この様なたいへん厳しい環境の中で、私たちは経済活動を行って行かなければならない訳ですが、会員企業個々の力では限界もあり、自力で現状を打破する事はなかなか困難でもあります。私はこの様な厳しい状況の時こそ、同友会の使命が問われるのではないかと考えます。私達は各記念事業実施に当たり、将来の街づくりに対する同友会としての取組む手法を模索致しました。そして、この事業を行う中で今後の活動の方向性も臆気ながら見えてきたように思います。未来の八代については、行政を中心にして積極的に推進して頂かなければならないテーマですが、私達もただ企業活動を通して地域に貢献するだけではなく、従来以上に官民一体となった活動に傾注して行かなければなりません。本年の記念事業がその契機となり、今後益々同友会の活動が実り多いものになる事を祈念致し、滞りなく記念事業を終了致しました事に改めて感謝申し上げます。

祝 辞



熊 本 県 知 事
福 島 譲 二

八代経済同友会が、30周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

30年前といえば、我が国初めての全国開発計画である全国総合開発計画が動きだし、工業開発拠点としての新産業都市の指定が始まった時期であり、八代市も不知火・有明・大牟田地区の拠点都市の一つとして内定を受け、その後の工業都市としての発展の新たなスタートが切られた時期でございます。

八代地域の新たな発展の展望が開けたまさにその時に、経済界の力を結集され、八代地域の発展を目指す八代経済同友会が発足されたわけでございます。

以来30年、「経済活動を中心とした地域開発の促進と中小企業の振興」を合言葉に、八代地域における諸課題に積極的に取り組んでこられました。中でも、九州新幹線、南九州西回り自動車道などの交通網の建設促進や、くまがわ祭りの充実、さらに最近では、八代高専への専攻科設置運動の推進など、八代地域の経済発展を目指しての幅広い活動には目を見張るものがございます。

皆様方の地域への愛情に満ちたこれまでの息の長い活動に対しまして、心から敬意を表する次第です。

さて、県では、去る8月9日、八代宇城地域を県内最初の地方拠点都市地域として指定いたしました。30年前の新産業都市、そして今日の地方拠点都市と、その時々の時代の節目には、必ずといっていいほどに八代市が注目を浴びております。それは、八代市がそ

れだけ多方面にわたる発展の可能性を有していることの表れであり、期待の大きさであろうと思っております。

新しい総合計画「ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと」でも触れておりますが、八代地域は県南地域の拠点であることは勿論、南九州を視野に入れた産業の拠点として発展する可能性を持った地域であります。県といたしましては、八代地域が県土の均衡ある発展に資する拠点としてふさわしい成長を遂げられるよう、精一杯のお手伝いをさせていただきたいと考えているところでございます。

これからますます充実期を迎えられる八代経済同友会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を心から祈念いたします。

祝 辞



八 代 市 長
沖 田 嘉 典

歴史的な冷夏を記録した今年、ふるさと活性化への思いを込めた八代経済同友会30周年記念事業の数々が、熱く繰り広げられました。

それは、プロ野球イースタンリーグ公式戦であり、記念式典であり、八代街づくりシンポジウム等々、同友会がこれまでの30年で築いてこられましたオピニオンリーダーとしての実績と自信の集大成でありました。

これら事業の一つ一つに寄せられた同友会の皆様方の願いが、市民に感動を呼び、活性化への大きな高まりとなるものと確信いたします。

八代経済同友会は、昭和38年に発足された八代地域開発研究会並びに八代産業開発研究会を全身とし、昭和47年に現在名へ改称され、当初の会員40名から230名を有する大きな組織へと発展を遂げてこられました。

これまで、歴代の代表幹事さんや役員の方々の強力なリーダーシップのもと、会員各位の強い結束と協力により、常に時代の変化に即応した諸活動を展開され、八代市の経済発展に多大の貢献をいただいております。

ここに衷心より感謝申し上げ、敬意を表する次第です。

21世紀へカウントダウンとなった現在、私たちを取り巻く社会情勢は日々激しく変動し、国際化・情報化更には技術の高度化といった潮流が高まる中で、経済はソフト化・サービス化が進み、経済界も新たな時代へ向けての構造調整が急速に進んでいます。

こうした環境下、本市といたしましても、

市民生活の安定と住みよい生活環境づくりに取り組むとともに、産業の一層の振興をめざして、経営や技術の向上を図るための各種研修制度や講演会、金融円滑化のために融資制度の充実など、総合的な施策を推進いたしております。

そして更に、皆様方に一早くご理解とご賛同をいただき、八代市の飛躍的な発展の鍵を握り、命運を決するともいえる「地方拠点都市整備法」の指定を受けることができました。

この指定を受けて、これまで圏域18市町村がそれぞれに展開してきた事業を一体化し、広域性を活かした地域づくりに一段の弾みがつき、インフラ整備が一気に促進されることとなります。しかし、これらの施策や事業を推進し、より実効あるものとしていくために、皆様のお力添えは欠くことのできないものです。ここにめでたく30周年を迎えられ、今後更に組織の強化と充実にも努められ、本市のオピニオンリーダーとして積極的な御提言と御協力を、心より御期待申し上げます。

あらためて八代経済同友会の数多くの先覚の偉業を偲び、役員の皆様並びに会員各位のご尽力に対し、深く敬意を表します。

八代経済同友会のより一層のご発展と、会員各位のご健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



八代商工会議所会頭
岡 本 圭 右

このたび、創立30周年を迎えられました八代経済同友会、会員の皆様に心からお喜びとお祝いを申し上げます。

また、ひとつの節目とも言うべき30周年を迎えられたことは、皆様にとって大変意義あるしかも記念すべきことでもあり、喜びもひとしおのこととご拝察致します。

勿論、今日に至る迄には先輩諸氏の方々の並々ならぬご努力とご尽力があったことと思えます。ひとくちに30周年と申しますが、その間貴会が地域社会の発展と地方文化の向上のため常に情熱を持ってこれまで貢献されたことは、多大なものがあり衷心より敬意を表する次第でございます。

扱、我国経済は2年余りに渡り景気の低迷が続いており、その不振から脱却する事が緊急の課題であります。それに例年にない長雨、異常気象による農作物への被害や台風等による天災、回復への見通しのあまき、更に円高等の要因が重なりここに来て再び悪化の度合を強めている現状で景気情勢は極めて深刻な状況となっております。申すまでもなく我国産業の活力の源泉は中小企業であり、勿論私も八代地域におきましても企業のお大半が中小企業であり、今後多少の痛みを伴う場合もあるものの自らの創意工夫と自助努力によって道を切り開く努力も必要となって参りました。しかしその反面、八代地域は本年地方拠点都市地域の指定を受け、また平成7年の臨港線の開通、西回り自動車道、新幹線の早期実現など明るい活況も着実に推進されており、

大変喜ばしいことであります。

私も商工会議所も地域の総合経済団体として、産業の振興発展を通して豊かな活力ある地域社会の建設に努め、住民の生活向上に積極的な役割を果たしていかなければならないと考えています。これを期に新しい21世紀に向かって、行政はもとより私も商工会議所とも更に連繋を密にし、八代の更なる地域経済の活性化、近代化に向けて専心努力されますことを念願致します。

最後に八代経済同友会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念致しまして私の祝辞と致します。

祝 辞



熊本経済同友会代表幹事
長 野 吉 彰

このたび、八代経済同友会が、創立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

顧みますと、八代経済同友会は、昭和38年9月に八代地域開発研究会、八代産業開発研究会を母体として八代の少壮気鋭の経済人が相集い、経済問題に関する調査研究を通じて地域経済の発展と会員相互の研鑽・親睦を目的として創立されたもので、以来30年、激動する経済社会の中で、歴代代表幹事をはじめ会員各位のご活躍によりまして、今や八代地域におけるオピニオンリーダーとして確固たる地位を築かれたことは、誠にご同慶に堪えないところでございます。

県政の重要課題であります九州新幹線鹿児島ルートの早期着工をはじめ、西回り高速自動車道の建設、八代天草架橋、八代外港の整備や地方拠点都市の建設の諸問題について精力的に取り組まれ、これらの調査・研究提言が今日着々と実を結び豊かな郷土づくりが進められておりますが、このような会員の皆様方のご努力に対し深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨今国際化のうねりの中で急激な円高不況など厳しい経済環境を迎えておりますが、このような時こそ、我々経済団体の真価が問われるときでもあり、社会の期待も大きいものがあるかと存じます。

私共熊本経済同友会といたしましても、県下の経済五団体をはじめ地域の経済団体の皆様とも緊密な連携のもとに熊本経済の活性化

に一致団結して取り組んでいるところでございます。九州新幹線鹿児島ルートの建設促進運動の展開をはじめとして県政の重要課題について多少なりとも寄与することができ、更に本県経済界の結束強化のお役にたてればと考えているところでございます。そのためにも、今後一層皆様方の御理解と御支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。八代・宇土地域も地方拠点都市地域に指定が内定し、21世紀に向けての八代地域の街づくりがはじまろうとしております。

皆様におかれましては、創立30周年を契機に益々研鑽を積み、自由、豁達な経済団体としてご発展を遂げられますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

30周年実行委員長 あいさつ



30周年実行委員長
濱 大八郎

八代経済同友会は、本年創立 30 周年を迎えましたが、これまでの会としての成長には、多くの先輩方また歴代代表幹事の皆様方の、計り知れないご努力があったものと厚く感謝申し上げます。

『創立 30 年 いま翔きのとき』のスローガンのもと、昨年より会員の皆様、また実行委員会の方々とともに、30 周年の事業の在り方、経済同友会として現在の地域での役割、そして 30 年という節目での今後の同友会としての方向性等を考え、記念事業の計画実行を致して参りました。その中でも特に注意したのが、記念事業が単年度事業として終わるのではなく、次年度以降に継続される事業でなければならない事を考え以下の様な企画となりました。

まず 5 月 4 日にプロ野球イースタンリーグ公式戦「西武－巨人」戦を開催致しましたが、菜種梅雨の最中、悪天候が続き開催が危ぶまれましたものの、何とか前日には雨も上がり、当日は快晴に恵まれ、観戦された約 8000 名の皆様方も野球の醍醐味を十分に満喫されたものと思います。また当日はかねさこ荘を始め各施設の皆様を 200 名以上ご招待し観戦して頂きました。7 月 9 日には記念式典並びに記念祝賀会を挙行し、福島熊本県知事様を始め多数の来賓の皆様、同友会会員の皆様にご出席頂き、式典、祝賀会とも滞りなく成功裡に終了する事ができました。更に 8 月 15 日には、自主制作番組「いま翔きのとき」を RKK テレビを通じて 1 時間番組として放送

致しましたが、この番組は現在の八代地域を見つめ、将来のあるべき姿に焦点を合わせ、21 世紀を展望した地域づくりを主旨に掲げ制作致しました。そして 9 月 29 日には、テレビ番組の内容を基に「八代まちづくりシンポジウム」を約 700 名の市民の方々のご来場のもと、八代市厚生会館で開催致しました。このシンポジウムには市民参画で 100 人の方々にパネラーとしてご参加をお願いし、市民の方の意見も反映できるような演出で、明日の街づくりに向けて有意義なシンポジウムを行う事ができました。また 10 月 22 日には、30 周年記念講演会と致しまして、講師に依孝太郎氏をお招きし「今、何が国民の問題とされているか」の演題で、会場満席の市民 800 名のご参加で行われました。

今ここに、今年行われました 30 周年の全ての事業と、30 年間の歴史を編纂した記念誌を発刊するに当たり、全ての記念事業は終わりますが、今回の記念事業が来年度以降の同友会の指針になり得れば意義の深いものになるかと考えます。

最後に 30 周年記念事業に対して、会員の皆様方また行政並びに関係各位に多大なるご協力賜りました事を、実行委員長と致しまして深く感謝申し上げます。有難うございました。

八代経済同友会 30 年のあゆみ

PART I
1963～1982

1963
昭和38

<代表幹事>

- ・昭和38年 創立

(地域)

上村 寿之助



(産業)

谷口 勝利

- ・昭和39年 初代

(地域) 上村 寿之助

(産業) 谷口 勝利

- ・昭和40年 第2代

(地域)

和田 正幸



(産業)

石田 徹



- ・昭和41年 第3代

(地域)

富田 振作



八代外港の整備と並行して、工業用地の造成がぼちぼち進められていた頃のことです。それでも外港への道路は粗末を極め、雨の後など車で行くのにさえ難渋したものでした。「こんなに大事な道路、一日でも早く舗装して欲しい…、まそうしなければせっかく関心をもって視察に来た人にも申し訳ないし、いい印象などとても期待はできないだろう」と。26~7年前、地域開発研究会の時代です。私達は仲間の経済開発研究会や青年会議所、商工会議所の皆さんにも相談をもちかけました。その上で久保田県議に同行を願い、県庁に寺本知事を訪ねたのです。いろんな話もありましたが、今はもう昔話です。それでも外港への最初の舗装道路が出来上がった時には、さすがに嬉しかったものでした。

(産業) 石田 徹

- ・昭和42年 第4代

(地域) 岩見 正春



(産業) 谷口 勝利

- ・昭和43年 第5代

(地域)

徳住 正吉



(産業)

谷口 勝利

<同友会主な行事>

- ・大手町踏み切りの一旦停車を信号灯にして停車不用に努力結実した。
- ・地域開発研究会と産業開発研究会の並立時代

<その時社会は?>

- ・S 38. ケネディー暗殺、OECD加盟、物価上昇、土地ブーム
- ・S 39. マッカーサー死去、東京オリンピック、新幹線開通
- ・S 40. 山陽特殊製鋼倒産、日韓条約調印、山一証券に特融、八代水害
- ・S 41. 松代地震、航空機事故続発、
- ・S 42. 吉田茂氏死去、資本自由化、革新美濃部都政、
- ・S 43. 川端康成氏ノーベル賞受賞、学園紛争

<あなたもこんなだった>

- ・S 38. こんにちは赤ちゃん、流通革命
- ・S 39. 東京五輪音頭、オレについてこい
- ・S 40. 網走番外地、期待される人間像
- ・S 41. ゴマすり、君といつまでも
- ・S 42. ハプニング、ブルーシャトー
- ・S 43. 帰って来たヨッパライ、「竜馬がゆく」等司馬遼太郎ブーム



八代市新産都市に指定される。

熊日 1963 7/12 朝刊
八代市発展の期待は、イヤが言えにも高まり、指定された日はお祭り気分だった。

同友会の前身 八代地域開発研究会旗上げの記事 1963 9/26熊日朝刊



1969
昭和44

<代表幹事>
徳住正吉



副代表幹事
鳥巢 観吉・谷口 勝利

<同友会主な行事>

・八代経済開発同友会として正式発足 ・文化講演会：宮崎康平氏 ・種々の会合を経て、
5月16日 17:30 厚生会館大会議室にて現在の経済同友会が発足 ・細川隆元氏の公開
講演会

<その時社会は？>

・東大入試中止 ・人類初の月面着陸 ・熊大紛争

<あなたもこんなだった>

・Oh モーレッツ ・やったぜベイビー ・黒ネコのタンゴ ・スモッグ
・真実一路のマーチ ・いい湯だな

1970
昭和45

<代表幹事>
緒方基一



副代表幹事
谷口 勝利・水洗十三郎

<同友会主な行事>

・会員総数 59 名 ・例会スタイル 12:00~13:30 八代太洋 6 F 食堂で月 2 回平均開催、
総会も同じ場所 ・宇部常盤公園視察 ・白鳥一つがいと同公園より購入、市へ贈呈、こ
れが城跡公園の白鳥の元祖

<その時社会は？>

・減反政策開始 ・大阪万国博 ・日航よど号事件 ・日本の人口一億突破
・三島由紀夫事件

第7代の代表幹事をしていた頃の思い出があればということですが、八代ロータリークラブの第10代会長を勤めた直後ではなかったかと思っています。同友会の会員数が未だ少なく、2つの団体を合体しても、尚存立が危ぶまれた頃でありましたので、毎月一回の定例会を持つようにしようと言う事で精一杯でありました。皆様の御努力で今日の盛大を招来されたこと御慶び申し上げます。

1971
昭和46

<あなたもこんなだった>

・走れコートを ・ウーマンリブ ・歩行者天国 ・ドリフターズ
・レッド・サン

<代表幹事>
石田 徹



副代表幹事
水洗十三郎・飯田 圭蔵

<同友会主な行事>

・商工会議所 2 F に事務所開設、事務局員 伊藤紀子女史、会員数 64 名
・沢田一精新熊本県知事を囲む会 例会ゲスト：内田健三氏、天野広行熊日論説委員

<その時社会は？>

・為替変動相場制へ移行 ・沖縄返還 ・ドルショック ・中国国連登場
・英国 EC 加盟 ・大久保清事件

<あなたもこんなだった>

・知床旅情 ・また逢う日まで ・アンノン族 ・横綱玉の海死去
・円切り上げ ・ネズミ講

1972
昭和47

<代表幹事>
古閑雄幸



副代表幹事
島 興人・古島 健一・和久田昭三

<同友会主な行事>

・八代経済同友会と名称変更 会員数 67 名 ・姫路、相生、岡山、三原、岩国各市を新幹
線中心に視察 ・天草五橋を巡って船上観月会 ・ソフトボール大会

<その時社会は？>

・グアムで横井正一さん発見 ・赤軍派浅間山荘事件 ・日中国交正常化
・ニクソン訪中

＜あなたもこんなだった＞

・「恍惚の人」 ・恥ずかしながら

1973

昭和48

＜代表幹事＞

古 閑 雄 幸

(前年同様再選)

＜同友会主な行事＞

・創立10周年記念公開講演会 経済評論家：三鬼陽之助氏 ・細川護熙参議御夫妻を招き松浜軒にて10周年記念茶会 ・倉敷、岡山、宇部商店街振興駅前開発 ・公園緑地について視察 ・「九州新幹線の八代停車を実現しよう」の提言で熊日に一頁広告

＜その時社会は？＞

・金大中事件 ・オイルショック ・大洋デパート火災 ・戦後最大の不況
・第4次中東戦争 ・ウォーターゲート事件 ・インフレ ・モノ不足

＜あなたもこんなだった＞

・「日本沈没」 ・売りおしみ買いだめ ・Jニクラス大活躍の一年
・柔道日本一に上村春樹 ・高校日本一に山下泰裕

1974

昭和49

＜代表幹事＞

豊 田 剛



昭和49年から50年にかけて2期代表幹事を務めさせて頂きました。記憶に残る代表的なものは、
(イ)同友会で10万円の寄附をして、市に開発を呼びかけ49年度調査費として市が100万円の予算を計上、いろいろ計画をねり、確か翌年でしたか、788千万をかけて春光寺周辺から懷良親王の御陵にかけての遊歩道や子供遊園地を建設して貰ったこと。(東部山麓開発事業計画)
(ロ)まさかと思われた興人の倒産発表(当時市場最大の負債額と騒がれた倒産)、同友会会員の中でも大きな被害を受けられた企業が数社ありまして、大変皆様と一緒に心配した記憶があります。
最後に同友会の益々の発展を祈ります。

副代表幹事

田崎多十郎・加藤 丈直・飯田忠一郎

＜同友会主な行事＞

・公開例会 西和夫毎日新聞東京本社経済部長「石油危機と日本経済」200名を超える聴講者 ・岡崎市、桑名市の都市再開発事業の視察 ・長洲町役場と日立造船所有明工場の視察 ・県議会交通通信特別委員会で新幹線の件につき当会の3名が意見陳述

＜その時社会は？＞

・田中金脈問題露呈 ・ルバン島小野田少尉30年ぶりに帰国 ・椎名裁定
・ニクソン大統領辞任

＜あなたもこんなだった＞

・「ノストラダムスの大予言」 ・オカルト ・不況 ・インフレ ・物価高
・青天のへきれき ・パルカン政治家

1975

昭和50

＜代表幹事＞

豊 田 剛

(前年同様再選)

＜同友会主な行事＞

・S43年以来市長に要望していた「古麓歴史自然公園」が総工費4000万円で完成 単年度公園事業としては市始まって以来 ・熊本県訪中使節団へ4名の方が参加 ・天草経済同友会が本渡で設立

＜その時社会は？＞

・ベトナム戦争終結 ・興人倒産 ・企業倒産戦後最高 ・三億円事件時効
・六価クロム ・塩ビ被害 ・スト権スト

＜あなたもこんなだった＞

・シクラメンのかほり ・チカレタビー ・タワーリングインフェルノ
・ジョーズ ・長島巨人最下位 ・近鉄初優勝

1976

昭和51

＜代表幹事＞

藤 本 正 雄



不況の中に平成5年も終わろうとして居ります。八代経済同友会が発足してから、30年の記念誌を発行される由、ここに手許にあった写真を同封致します。
長らく御無沙汰致して居ります。私も病氣しましてより3年余り何とか出来る程度に回復致しました。

副代表幹事

小笹 康介・徳田 義雄・深水 毅一

＜同友会主な行事＞

・例会講師 益田憲吉西日本新聞解説委員長：「新年の政治経済の展望」 ・木下嵩氏（熊本経済同友会員）「熊本の経済」 ・宮崎、都城市視察 ・大岳地熱発電所視察

＜その時社会は？＞

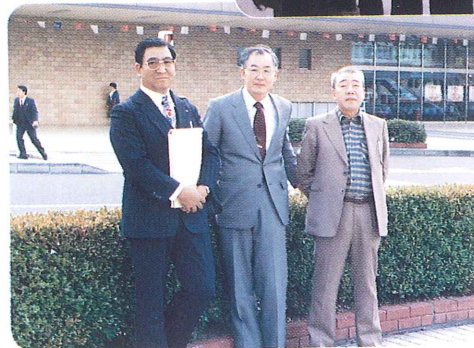
・ロッキード事件 ・米国独立200年祭 ・ソ連ミグ25戦闘機函館に着陸
・三木内閣から福田内閣へ ・冷害 ・五つ子誕生

＜あなたもこんなだった＞

・「限りなく透明に近いブルー」 ・北の宿から ・およげ、たいやきくん ・記憶にございません

写真集

様々な事がありました。
どの写真が、どんな時のスナップかお分かりですか？ここ
にも30年の長い歩みがあるのです。



1977
昭和52

<代表幹事>
宮崎典三



副代表幹事

有馬重雄・中川 勝・深水 毅一 事務局長 篠原 和也

<同友会主な行事>

・スローガン「地域開発と自己努力」・前川右岸堤防の改修工事の陳情と着工・九電
玄海原発見学

<その時社会は?>

・サラ金悲劇・安宅産業消滅・円高・二百カイル騒動・大学入試の不正続出

<あなたもこんなだった>

・人間万事塞翁が馬・たたりじゃあ・どうしたでしょうね?・ウォンテッド
・津軽海峡冬景色

1978
昭和53

<代表幹事>
森 精一



副代表幹事

中西 豊・松本 欣治・白石 浩 事務局長 豊島 政吉

<同友会主な行事>

・中央高速自動車道、恵那山トンネル、松本市、名古屋市視察・沢田熊本県知事を囲む
会・例会講師 大澤昂熊鉄管理局長「最近の国鉄をめぐる諸問題と八代」

<その時社会は?>

・成田国際空港開港・日中平和友好条約調印・本四架橋着工
・九州縦貫道御船ー松橋間開通・大平内閣誕生

<あなたもこんなだった>

・UFO・サラ金・窓際族・フィーバー・ヤクルトスワローズ日本一
・地下鉄漫才・不確実性の時代・江川巨人入団

1979
昭和54

<代表幹事>
田崎 多十郎



副代表幹事

谷口 勝利・有田 泰雄・豊島 政吉 事務局長 藤本 政朗

<同友会主な行事>

・例会講師 寿崎肇 寿屋社長「寿屋八代店の今後」・三宅久之氏（経済評論家）「内
憂外患の大平内閣」・船井幸雄 日本マーケティングセンター社長「大型店の出店と商
店の対応策——共存共栄は可能か」・奥住正道氏（奥住マネジメント研究所所長）「中
小商店と大型店の共存共栄は可能か」・市内在住主婦10名にお願いしての消費者モニター
会議・沖縄研修旅行

<その時社会は?>

・寿屋八代店開店・スリーマイル島原発事故・東京サミット・第2次石油ショック
・日本坂トンネル火災・イラン革命

<あなたもこんなだった>

・ウサギ小屋・ワーカーホリック（働き中毒患者）・省エネ・天中殺
・占いブーム・おもいで酒・ジョン ウェイン逝く

1980
昭和55

<代表幹事>
鳥巢 観 吉



副代表幹事

江上 俊助・田辺 太・宮崎 哲夫 事務局長 森本 常雄

<同友会主な行事>

・例会講師 園田清充、田代由紀夫両参議「最近の国政及び国会の動き」・三善信一
リコー会長「1980年代の経営戦略」他・公開講演会 桂小金治「人の心に花一輪」
・大津町の本田技研工場見学・球磨川駅移転問題に関し当時の湯野八代駅長より意見を
聴く

<その時社会は?>

・モスクワオリンピックボイコット・ポーランド「連帯」設立・イラン、イラク戦争
・金融強盗史上最高

<あなたもこんなだった>

・ダンシングオールナイト・山口百恵引退・巨人の王 引退

1981
昭和56

<代表幹事>
小 笹 康 介



副代表幹事

岩村 竜男・久 仁一郎・島 惣一郎 事務局長 橋本 敬信

<同友会主な行事>

・高知市の「よさこい祭」を視察 「夏祭りへの提言」を行う。これが源になって現在の「くま川まつり」の骨格が出来上がる。

<その時社会は?>

・臨調初会合 ・神戸でポートピア'81 ・テクノポリス建設予定地16地区選定
・坂田道太法相誕生 ・チャールズ、ダイアナ結婚 ・ヤンバルクイナ発見

<あなたもこんなだった>

・ルビーの指輪 ・ハチのひと刺し ・「吉里吉里人」 ・ツービート
・「んちゃって」 ・漫オブーム

1982
昭和57

<代表幹事>
島 興 人



副代表幹事

森本 逸夫・中野 進夫・松田 逸夫 事務局長 中野 進夫

<同友会主な行事>

・企業誘致、農業研究の両委員会を新設 特定不況都市指定からの脱却に全力をあげる
・シンポジウム開催 萩原茂裕 日本ふるさと塾々長「明日の八代を考える」 ・自民党市議団との懇談会 ・同友会、商工会議所、JCと八代経済振興推進会議「八振会」結成・
「'83八代くま川祭皆で踊ろう」TV1時間番組放映

<その時社会は?>

・500円硬貨発行 ・東北新幹線開業 ・長崎水害 ・特定不況都市に指定される
・鈴木内閣から中曽根内閣へ ・光岡明氏直木賞受賞

<あなたもこんなだった>

・「裏声で歌へ君が代」 ・逆噴射 ・ルンルン ・ほとんどビョーキ

八代経済同友会 30年のあゆみ

PART II
1983~1992

ごあいさつ



昭和58年度代表幹事
故 深 水 毅 一

編集部からは、「あなたが女房役だったのだから、一文草して下さい」とのことだったが、同一町内、思い出は尽きず、またあの晴れの20周年記念の時の代表幹事、共に苦楽を重ねて一杯やったのがつい昨日のこのよう。あれから10年もたったのかと思うだけで胸一杯。ここに当時の20周年記念誌に掲載された深水毅一代表幹事の「ごあいさつ」がある。これをそのまま掲載していただく事にした。これこそが、あの当時の氏のまぎれもないお考えなのだから。合掌。 浜 大八郎



ありし日の深水代表幹事と事務局長

八代経済同友会は本年20周年を迎える事が出来まして会員の皆様方と共に御同慶に存ずる次第でございます。

20年前地域開発研究会として発足され今日に至った訳でございますが、現在籍会員数111名にも上って居ります事は歴代の代表幹事の方々の並々な御努力と指導力・並びに会員一人一人の方々が目的の為に自己を捨てての御協力が有ったればこそと存ずる次第でございます。

有田先生はじめ地域行政にたずさわっております市、県国出先の各機関におかれましては御指導に又育成にお力添えを戴きまして有難く厚くお礼を申し上げる次第でございます。同友会の目標は県下第2の都市にふさわしい人口20万～30万の住みよい活力あふる街造りで有ります。

新産都市指定当時は、大躍進の八代市ともてはやされ、内外共に大いに期待したものでしたが国際情勢の大変化と共に高度成長より低成長の時代へと変わりその夢もはかないものとなってしまいました。

此の様な情勢の中で活力ある八代を造り上げるにはどうすれば良いかを真剣に見直さなければならない時ではないかと存じます。

企業誘致は当然の事ですが、地元企業育成、そして既存企業を街ぐるみで愛し育てていく、その様な温かい街造りに市民運動が盛上がった時こそ私達の悲願が実る時ではないでしょうか。温かい家には人が集まる様に温かい街には国内はもちろんの事、国外からも企業が集まって来る、人が集まって来る。



20周年記念講演会での深水代表幹事の勇姿

地元企業もどんどん伸びていくであろうと考える時その夢は大いに拡がって参ります。八代宮御堀の白鳥・古麓の遊歩道建設・球磨川河川敷運動公園設置・くま川祭り見直し等々、同友会の提言を汲上げていただいた市ご当局に感謝申し上げます。八代をよくするには自助努力はもちろん、必要欠く事は出来ない、そのパイプをより強化し推進して行かねばならないと考える次第でございます。

同友会は、日本一温かい街づくりを目指して頑張っております。何卒国県市ご当局の皆様、今後共温かい御指導と御鞭撻、御協力を切にお願い申し上げます。



20周年記念講演会 講師「藤本義一氏」



昭和59、60年度代表幹事
森本逸夫

会員の意向を受けて、2年の任期を通して都市計画、鉄道（八代駅の改築および球磨川駅の移転）関連の例会、委員会の開催が多かったようです。

県の協力なくして八代市の発展はないとの考えから、会としても県との関係に重点をおきました。八代経済同友会の前身である八代地域開発研究会が、県の希望で発足したことは周知の事実で、歴代の役員の皆さんもこれをふまえて県と密接な繋がりを続けて私たちに引き継がれました。昭和38年の夏に県庁に呼ばれて県の意向を聞き、市の若手経営者に伝えて発起人になり、発足と同時に事務局長になった私が、21年後に代表幹事の指名を受けたときは衷心から感激しました。会の発足の際、県の窓口になっていただいた当時の企画課長補佐の山下寅男さん（福祉生活部長で退職）が今秋の叙勲で勲四等瑞宝章を受章され、友人として誠に感慨無量です。

59年に新年の挨拶に役員一同が県庁を訪問した際、細川知事が知事公舎で約50分も



視察研修旅行
人吉方面へ 説明に聞き入る真剣な顔々々…

会っていただき、60年の新年挨拶では25分、そして知事の両側に何回も入れ替わって記念撮影をしたことが印象に残っています。同友会の要望に応じて、県から例会の講師に企画開発部長や商工観光労働部長のほか各課長を派遣していただきました。

59年当時、市は当時マスタープランの策定作業中で、同友会でも市から担当の市長公室長、企画課長それに沢助役と順次委員会に



八代亜紀邸での月見の宴 皆しおらしくやっております

来てもらって、研究の成果をまとめて数多くの提案をしました。私は同友会を代表して市のマスタープランの審議会の委員を委嘱されましたが、審議が進まないため二つの部会を作って審議することになり、中九短大の江里口教授と私が部会長になってまとめたことを覚えています。

事務局が商工会議所からサンルートホテルに移転したのは、59年8月1日でした。この年は例会を毎月3回開くことを原則に会の運営を計画しました。各委員長さんが頑張られたので、例会と委員会等で月10回の会議で、役員は大忙しというところでした。ちな

みに当時の会員は116名（昭和59年12月31日現在）でした。

県市関係を除いた主な講師には、評論家の内田健三、桃井 真（桃井かおりの父親）、天野広行（熊工大）、光吉健次（九大・都市計画）、武田哲夫（日銀支店長）氏などをお願いしました。

60年には市議会の各派と個別の懇談会を開きました。合計7回の会議には、「八代駅の改築」「都市計画・用途地域の見直し」など当面の問題11件を示して意見を交換し、実現に協力を頼みました。研修旅行も年間に3回（都城、川内、日田の各市）実施されましたが、内田孝司企画委員長はじめ各委員長のご熱意によるものでした。

毎月2回以上の例会を開催したいと各委員長が努力されたため、60年も月に3回の例会を開いたことが数回ありました。県市関係以外では村井澄夫（前自衛隊統幕会議議長）、藤田邦昭（都市問題コンサルタント）、長妻靖彦氏（毎日新聞経済部長）が講師に招かれました。60年は、八代城天守閣復元の運動が会員から盛り上がったため、木村盛好委員長を中心に八代城関係の例会、委員会、公開例会が相次いで開かれ、郷土史家の江上敏勝先生は講師として4回も出席されました。

59年のくま川祭りの同友会からの参加者



船上での月見の宴 奥様同伴の方もいらっしゃりそれは賑やかな秋の一夜でした

は102名、60年には160名を越える大部隊になりました。担当された谷口忠司、沢村正光両氏のご苦勞に、今でも感謝しております。またこの2年間は毎年2回の釣り大会があり7月はキス、10月は小ダイを対象に芦北町の計石の沖で実施しました。役場の商工観光課の協力で実施しましたが、担当の皆さんには八代の商圈の芦北と友好関係を保ちたいとの読みがあり、目的は成功したと思っています。変わったところでは、60年9月29日に金沢登茂治、中川勝両氏のお世話で月見の茶会が、大福寺の八代亜紀さん宅で開かれました。会員25名が集まり家族の参加もあって盛会でした。同友会では昭和48年4月に創立10周年記念茶会を開催しましたが、市の内外から500名を越える参会者を集める大茶会でした。この時の担当者が中心になっての月見の茶会でした。

59、60の2年間にわたって特例で代表幹事をやらせていただきましたが、無事に大任を果たせたのは、各会員のご支援、特に副代表幹事、事務局長、各委員長、幹事の皆さんのご協力によるものでした。事務局長を務められた荒木暁朗さんには、お仕事が多忙の中を会の運営に専念していただき、感謝しています。会員の声を反映して、役員は1年で交代していただきましたが、工業委員長の梶野正行さんにはお忙しい中を2年間お付き合いいただきました。



昭和61年度代表幹事

田 邊 太

昭和61年という年は、未だ本格的なバブル経済の時代とはいえないものの、すでに東京都においては都市部の商業・業務用地は相当な上昇（対前年55%）がみられ、それはやがて昭和62年から全国的な規模で地価狂乱、バブルの時代へと移ってゆくのであるが、正にその萌芽を内包した前奏の年であったといえることができる。

会員総数117名、本年度から新しいスタッフとして日常会務を処理するため専務理事を採用、副代表幹事2名、委員会は商業、工業、地域開発、観光、企画、広報、企業誘致研究、八代城復元研究の8委員会構成され、例会は原則月1回（1月、12月は除）ということが発足した。

2月 ゲスト 熊本鉄道管理局長 榎本信夫氏、分割民営後の諸問題、八代貨物取扱所（通称球磨川駅）の移転等。

3月 日本銀行熊本支店長 高柳卓三氏、バンクオブバンクスとしての日銀の役割、金融対策等の諸問題。

4月 国立八代工専教授 黒瀬重幸氏、桂



くま川祭りの総踊りにメンバーこぞって参加

英昭氏、交通体系の整備、スプロールを抑え



視察研修旅行中の一コマ

たコンパクトな市街地の形成、分り易く印象に残る都市空間の形成。

5月 参議院議員 守住有信氏、当面する政治問題、通信情報メディアの諸問題。

6月 ビデオ 「てんびんの詩」鑑賞会。近江商人の後継者を育てる苦しい毎日を、少年の姿を通してその過程を見て頂こうとする名作で、日本経済新聞が高く評価したもの。

7月 八代市長木村健一氏、4月市長に就任の新市長の抱負、市政全般についての懇談。

8月 法政大学教授 内田健三氏。郷土の生んだ政治評論家を迎えて一般公開例会とする。同時選挙後の政局―第三次中曽根内閣の課題―。

9月 ㈱高木富士川計画事務所代表取締役 富士川一裕氏。球磨川駅跡地利用を含む周辺の再開発について。

10月 日本道路公団八代工事事務所長 荒川直士氏。高速道路の経済効果と地域社会への貢献。

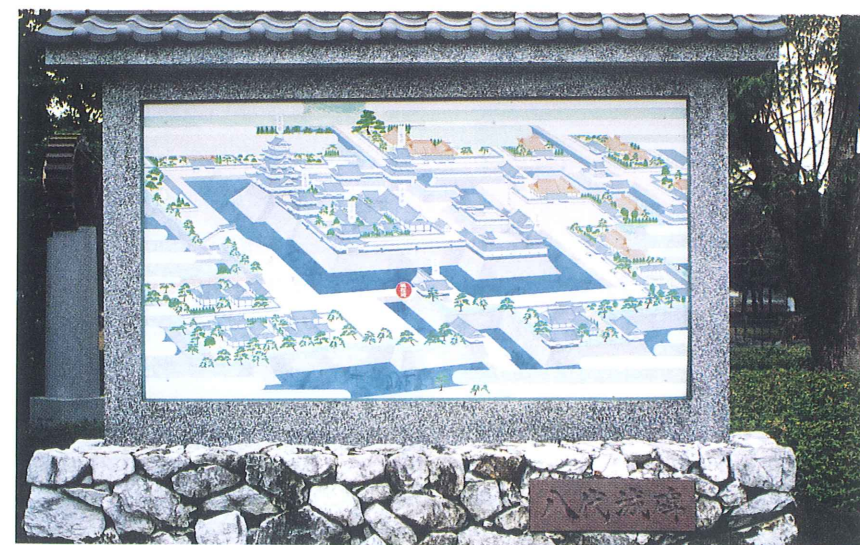
11月 前月卓話を受けての九州高速道八

代一人吉間の工事の状況見学会。

以上、例会の概況であるが、その間7月にはキス釣り大会、11月6日～8日米子、松江方面への研修旅行等の楽しい行事が企画、実施された。松江市では市長さんが、私共と最後まで長時間に亘って同席され、市の現状と経営について懇談されたが、事業も市の経営も考え方は同じであるという市長さんの話に大いに共感を憶えた事を思い出す。

そのほか、この年の思い出に残るものに、1月29日、当会初代代表幹事であった徳住正吉氏の逝去がある。氏は昭和44年当時八代にあった2つの経済団体（地域開発研究会と産業開発研究会）の大同団結の必要性を説かれ、それらを合併して八代経済同友会を創立され、初代の代表幹事を勤めた方で、当会発展の基礎を作られた大先輩であるが、病魔の犯すところとなり他界された。心から御冥福を祈るものである。合掌。

前年度、古里を知ろう「八代城のなぞ」ほか八代史談会の先生方をお招きして一般公開例会等を通じて八代城シリーズが市民の関心と呼んできたが、往時の八代城の全容を市民に知って貰うために碑を建設することとなり61年度に引き継がれた。在りし昔の姿を正確に描き出す為に、松井文庫所蔵の古絵図を写真に収めたり、図書館で古い文献を探したりして会員荒木暁朗氏の手によって素晴らしい絵図面が完成、碑は会員木村盛好氏の採算を度外した奉仕によって神橋の袂に建設された。八代城石垣と同じ白石を土台に瓦を葺いた高さ2.7m、幅5mの石碑で、2重の扉に囲まれた中に五層六階の天守閣が立ち並ぶ建設時の元和8年（1622年）の全容を描いた絵図面がはめこまれたもので、その年の12月29日除幕され、城趾をおとづれる人の関心を集めている。



木村盛好氏と荒木暁朗氏の胆入りで立派な復元図が出来上り、八代城に行くたびに当時の事を思い出します。



昭和62年度代表幹事
／ 仁一郎

第24代代表幹事をご指名頂き最終的に引受けしたものの、10日間位眠れない日が続きました事を懐しく思い出します。

当時100名余りの会員が、6年後の現在では、230名余りのすばらしい八代経済同友会になって、本当に嬉しく感じています。

さて、森本逸夫、田辺太の両前代表幹事よりのご指導等仰ぎ乍ら、浜大八郎君の素晴らしい専務理事と島惣一郎、木村盛好さんの副代表幹事、それに各委員長の適材適所のこれ



選任会にて

又素晴らしい人選が決まり、本当にホッとした次第です。丁度その時新しくお務め頂きました事務局員さんが、現豊岡崇志君の奥さんになっている戸伏真琴さんで、谷口釣具店の姪子さんでした。これまた優秀な人でしたので、大変事が順調に進み、有難い事でした。12月29日八代宮の前に、田辺代表幹事の最終行事の八代城画図の記念看板が出来、落成式がありました丁度その時、RKKのテレビ局よりインタビューにこられました。田辺代表幹事を紹介したのですが、新年で交替だから新代表幹事は私という事になり1月7日あの

人この人の番組の放映で仕方なく応じました。「1月7日は正月なので、その事を頭において話を」と言われ苦労しました。

丁度八代宮へ門松がすでに飾り付けてありましたので、ムードはバッチリで30分位のインタビューでしたが、テレビは5分位に短縮してあり、非常に良く取れておりホッとした次第です。

又1月1日朝6時頃、郵便局の当時藤木局長より、市の萩本市民部長と2人呼出され年賀状等、初配達式に突然挨拶してくれとの事で、萩本さんは馴れていられるものの私は不馴れで弱りましたが、仕方なく「手紙、年賀状等社会又企業などのラブレターです」「工も商なり商は貢なり」と言います。汽車に乗れば前は列車内の売店の女の子が車掌さんが通れば、あの狭い道路の片側へ売台の車を寄せ遠慮し乍ら車掌さんを通していたのが、今は車掌さんがお客さんの席へ帽子を脱ぎ乍ら、『ご苦労さん』と売店の女の子へ声をかけ通しています。商の心配りで、郵便局もいつ民間的になるかもしれません」と思い付きで挨拶をしました。当時4月より国鉄が現JRになる時でした。終わった時局長が感じられたのでしょう、幹部クラスに用意されていた鉢盛を一つあげながら、藤木と言う局長と名の一緒の「藤木」と言う銘柄の酒を出され、萩本さんと3時間位雑談をし、その時萩本さんが「『公も商なり』かも知れませんね。」と話を交わしました。

後日、島惣一郎さんに、「急に挨拶の指名

を受けてあわてました。」と言ったら、「代表幹事たるものいつでも出来る様でなければ。」と叱られたり？、アドバイスなりを受けた様な事でした。その後はいつも何かのテーマと言うか、ポリシーと言うか、考えておく様になり、咄嗟の事にも対応出来た様な気がしています。今でもその事が頭にこびりついて、仕事の外色々な時、役に立ちいつでも島さんに感謝しています。

ところで、折角の商店街出身でもあるし、丁度商店街の理事長も兼ねていましたので、商業又観光の活性化と言う、一つのテーマの下に進めた方が良いのではないかと、委員会に計った様な事でした。

又、新年早々細川知事に挨拶に行きました時、諸々の話の中で蘭草の影響がある様ですので、岡山視察に行く事を話したら、咄嗟に同業を余り目立たない様に連れて行く様アドバイスされ、流石と思いました。その時、森本逸夫さんから写して貰った、現在総理大臣になられた細川知事と並んでとった記念写真を懐しく時々眺めています。

全部で12人位でしたが、浜専務理事の細かいスケジュールの下、オープン前の本四架橋を船から視察しながらの建設省の方の説明、又岡山商店街駅前再開発の新幹線開通前後の影響などの、市の職員さんからの話をさせて頂きました。又、現在本町2丁目のカラー舗装



倉敷・瀬戸大橋 視察研修旅行

は岡山商店街のカラー舗装をモデルにしています。

田辺太代表幹事からの受け継ぎで、八代城復元委員会の西崎直委員長の会の企画で、宮崎綾城又都城地場産業センター等、視察等に行きました。その後のくま川駅跡地等の提言時等利用させて頂きました。又、新幹線の当時予定地の島田町等の視察で、駅の玄関、ホームはここにとする様な具体的な説明を、現場で市の都市計画鶴山課長からお聞きました。

又、経済同友会の20周年式典がグランドホテルであった時、細川県知事が来賓で来られ、懇親会ではありましたが、「八代と天草に橋をかけたらいかがでしょうか。」と申し上げた所、「それはいいですね、良い事はどんどん言って下さい。」とさりりと言われただけでしたが、其の後県の「明日へのシナリオ」や市長選等に、大分にぎやかに提案された事を思い出します。

最後に私として一番思い出に残ります事は、当時日奈久の埋立地の利用開発が議論されていましたが、先ず日奈久の活性化には南の方が分らなくてはと、水俣、芦北と故木下二徳観光委員長の会の企画で視察した後、最後に当時の市の商工観光課長の小嶋、現商工会議所専務、潮現代表幹事も参加され、日奈久で懇談会になりました。話題が進む中、現在も潮さんには熊本県福祉協議会長をしてもらいますが、「ヘルシーパルを日奈久に」と言う事になり、その後日奈久では地元が反対で受け入れられず、高田へ6年間も陳情努力され、国の予定地を変更し、高田へ建設され今日落成に到っております。私の代表幹事の時の潮さんの発想で、私も何か一筋の嬉しさと喜びを感じています。

会員の皆様のご繁栄と八代の益々の発展を願ひ乍ら、筆を納めたいと思います。

スローガン

見直そう 四半世紀、今こそ再創造

昭和63年度代表幹事

島 惣一郎



「昭和63年度の代表幹事をあなたに頼みます。」と役員会で決定された時は「一寸待って下さい。私にも考えさせて下さい」と一瞬タジロギましたが、回りの方々からは「あなたも長年同友会の席を暖めて来た以上自分の思った通りに一年間だけやってみても悪くないでしょう」というお薦めの言葉もあり結局お受けさせて頂く事にしました。「まずはスタッフが強力でない……」と思い副代表幹事に木村盛好・松田逸夫・桐野正行の3氏にお願いし、専務理事に真木君を指名しました。以上の四方共皆快くお引受け下さり、出足は快調気分良く滑り出す事が出来ました。



熊本市出水神社へ参拝

しかし当時の八代は、円高不況下沈滞ムードも著しく私も、同友会の代表として何とかこの面での明るい話題を提供したいものだと願っていたのを今でも思い出します。私の学生時代からの友人に道越温君、藤門豊明君が県庁上層部、宮崎健君が熊日で活躍中でしたので、密かに三君に「八代活性化策を何か打ち出してくれよ」と運動したところ「実は近々何等かの八代の活性化策を知事が提案する事

になっているようだ」との情報を得、期待していたところ6月に細川知事より10大プロ



松井神社の祭礼を終え花見の宴

ジェクトとして発表され「やっぱり三人の言っていた事は本当だったな」と大いに感謝した事でした。今考えてみますと、この計画が今日の八代形成の為に本当に大きな柱でありました。臨港線、県営野球場、ニュー加賀島計画、レインボー計画……色々課題はありますが、当時と比べると確かに着々と進んでいると思います。

西回り高規格道路の早期着工を訴える陳情書も建設省に出しましたが、これも現在、目に見える形で工事が進んでおります。又私は、八代港を活性化する事により将来、中国東南アジアとの貿易を軸にした八代の発展という事も考え、1回目の例会では初めて外国人の講師として、駐福岡中華人民共和国領事の鄧郊氏をお招きしての国際色豊かなものにしました。領事のたつてのお願いを入れ、メルシャン・十条・YKK等の工場案内をし、それに「共産圏の領事様だから万一の事があっては……」との警察の御配慮で警備をいただいた

事等も今となっては楽しい思い出です。私の代に始めた事として記しておきたいのは、同友会の機関誌、広報誌であります「鵬際」の発刊です。名前を考え題字を書いてもらうのに当時の事務局員だった戸伏嬢（現豊岡様）の御親戚本島小夜子先生にお願いし、それが今日迄使われているのは、私の密かな自慢でもあるのです。又事務局員のその戸伏様が結婚する為、現在も頑張っておられる山鹿様になったのも私の時でした。各委員長の方々も自分の個性を存分に出され、研修旅行では宮崎、飫肥城見学、又還暦の会も私の時に初めて行った行事と記憶しています。こうして見て来ますと、四役初め委員長様、事務局員様に至る迄、私が選びお願いした人々は大した人々で「私も結構人を見る目がある」と一人悦に入っている今日この頃です。あれ



新年総会後の懇親会風景

から5年、私もまだまだ現役で頑張っています。

八代も確かに変わって来ています。同友会も私の時には確か会員は100人一寸ではなかったかと思いますが、それが今では200人も越えるとの事、私もその一員としてこれからも頑張っていくつもりです。

今は総理となっておられる細川知事（当時）への新年表敬挨拶風景
——当時の八代は不景気でした

スローガン

信義と協調で、地域開発を推進する八代経済同友会



平成元年度代表幹事

木村盛好

八代経済同友会創立30周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

振り返って見ますと、私が入会させていただきましたのは確か谷口勝利会員の勧めにより、昭和51年に入会させていただきました。入会当時、この同友会の存在さえ知らなかった私に（地たいらにして平和になる）年号の記念すべき平成元年に、第26代目の代



6月例会 地域振興について勉強

表幹事にご指名をいただきました。果して此の重大な役目が勤まるだろうかと、心配を致して居りました。指名された以上は、これは私の生涯の内もう二度とない役目であり、諸先輩方の名を汚さない様に身命を賭して、精一杯やるしかないではないかと決心致しまし

た。専務理事、副代表幹事、各委員長、各幹事、会員の皆様方の御指導、御協力をいただ



この年は公開例会のビッグプロジェクト三連チャン 女性パワーも秋山チエ子様の登場で最高潮

き、なんとか1ヵ年務める事が出来誠にありがとうございました。

オリンピック優勝者であります山下泰裕選手をお迎えして、公開記念講演を致しました時には丁度妙見宮の祭りの日でした。山下泰裕選手にも妙見宮参拝をしていただき、益々祭りが盛りあがった事が強く印象に残っております。又、元国務大臣の河本敏夫先生をお迎えして公開例会講演の時は、先生と長い時間一緒でしたので、有明海を埋め立てて九州国際空港建設などの話を出来た事も私の一生の思い出として残って居ります。又、その他にも公開例会など開催させていただき、御協力ありがとうございました。

八代市・郡を代表する様な経済人の集まりでありますこの会も、当時会員数が120名以下でしたが、今では220名を越す会になりました事を嬉しく思っております。行政機関に御提言申し上げておりました、臨港線の早期

開通、八代妙見宮祭の行列（これは1億円のふる里創生の資金で実現）又、ヘルシーパル八代の誘致陳情、八代天草架橋実現の為の第1回花火大会も致しました。西廻り高規格道路、八代一人吉間高速道路の全線四車線化の実現等も陳情して参りました。今後も八代経済同友会の第2条の目的であります様に、地域開発の推進と地場企業の振興を図ることを目的として、努力しなければならないと想って居ります。

又、今後共地域発展の為八代経済同友会の御発展と、会員の皆様の御活躍、御健勝を祈念申し上げます。



言いたい放題
早坂茂三
でも思いやりの深い人
でした
会場は厚生会館……満員

スローガン

輝く市制50周年！

経済と文化を創造する八代経済同友会

平成2年度代表幹事

松田逸夫



30周年の節目の年に当り、私なりに同友会に対して、思い出深い事が多い様です。私は青年会議所に15年在籍し、卒業（40才）してすぐ八代経済同友会へ入会した様に記憶します。会の運営その他団体としての会議の進め方等々は、青年会議所での訓練が役に立ったかなあと思いました。又多くの青年会議所のメンバーが入会している事は友達の輪として大変楽しい事ですし、ライオンズ、ロータリーのメンバーの方も多数ですので、他の色々の会の話しが聞かれるのも会の良い所かとも思っています。

八代で生まれて60年近く、八代を愛し、発展を願っている自分として身の廻りを見廻して見るにとっても最高の町とは言えないし、色々な不満が山積みしている様にも思います。最悪とは言わなくとも、良くなる要素が一杯です。折角出来た施設が充分に活用されていないものもあるでしょうし、駐車場が不備で使いにくいものもある等々。又折角の自然が、台無しになっている部分。その時々思いつきによる分散した施設。此の様な町を考えた



一年の計は記者会見から始まる

（見た）ときに、やはりもっと永い物差しをあてた、計画実行は出来ないものかをつくづく考えます。

時代は変わり、人の動き、経済も変わって行きますが、永い将来に向かって、より深い考えで実行されるべきだと思いますし、又それを理解して進めさせる市民意識を育てていくべきだと思います。

同友会は、いろんな提言を行って来ました。実を結んだ事は少ないかも知れませんが、それが大切だと思います。

問題を提言していきますと、いつの時代でも政治と言う問題に打ち当たります。今までの運営では、どちらかと言うと自民党一党支配的な発想でよかったのが、今後はどうでしょうか？

今後のリーダーシップの取り方は大変難しいかじ取りが要求されそうです。10年前20年前の同友会活動、現在の活動、大変な変わり方だと思います。どの時代の会が最高の活動をしているかどうか解りませんが、日々皆さんの努力で活力ある会になっている様にと願っています。今後アイデア、情報の発信基地として広く機能して行く事を期待しています。



商工会議所への新年挨拶も恒例
西岡事務局長より説明を受ける松田代表幹事



八代にはこんなに優秀な若者がいる。人材が再び八代に帰って来てくれる事を祈って、「若人との交信」 8月11日

スローガン

経済と文化の調和／

明日の八代へ提案する八代経済同友会

平成3年度代表幹事

故 金 沢 登茂治



今年（平成5年）の1月、金沢氏の訃報に接し、愕然とし、わが耳を疑いました。私と金沢氏との出会いは平成2年に四役をお引き受けした時でありました。それまでは、お話しをしたことがない方であり、その時が初対面でした。平成2年の臨時総会にて金沢氏が第28代の代表幹事に推薦決定され、私を専



故 金沢代表幹事の勇姿
彼の演説には常に嘸みしめさせられる「何か」があった

務理事に指名して頂きました。金沢氏は体力に自信がないということで最初は辞退されましたが、皆様のご推挙によりお引き受けされました。所信表明の中で金沢氏は自らのことを「天からののさりを己に与えられた」と述べられました。

平成3年度の同友会活動も、1月から例会・ヘルシーパル八代の誘致のため視察・八代市長との懇談会・熊本経済同友会との交流と推移していきました。そのたびに、金沢氏の挨拶には、私自身感銘を受ける言葉の数々でした。そして、金沢氏がそばにいらっしゃるだけで、何か心が落ち着き、安心感を人に与える方でありました。

4月に入り、金沢氏が体調を崩され、労災病院に入院された時は、私自身心の動揺から不安にならざるを得ませんでした。当時の副代表幹事でおられた池田・榎野・濱各氏と常任会計の中野氏とで何度となく協議し、四役を中心に共同体制で金沢氏が退院されるまで活動していこうと決意しました。私は何度となく労災病院へ足を運び、金沢氏から指示をあおぎ、又、同友会活動の報告を行ってまいりました。入院中の金沢氏は、自分としては、行動していきたいが、体がゆるさず、はがゆい思いをされておられる感じが感じとられ、「心配なさらず元気になって下さい」と申すしかありませんでした。7月に退院してこられた時、心からお帰りのさいませと申し上げると同時に私自身安堵する思いでした。

9月には、八代市近隣高等学校進路指導者との懇話会（求職者からの要望・提言）を開催し、私ども地場企業も、考えさせられる内容でした。金沢代表幹事は「現時点での経済の損得のみでなく、来るべき21世紀へ向け



ヤマハ八代製造㈱の工場訪問
5月の事でした。そろそろボートも良い季節だったので

どのような形でバトンタッチすることが最善であるか（若者が帰って住みたくなる街）を建設することが大事である」と常々発言されておられました。

10月には注目の人「岩國哲人出雲市長」の出雲市へ視察研修旅行に出かけ有意義な三日間でした。金沢氏とはゆっくりとお酒をくみかわしながら談笑することも出来ました。

11月に加藤寛氏をお招きしての公開例会には、多数の八代市民の参加があり、桧舞台で金沢代表幹事が挨拶された様子が今でもはっきりと目に浮びます。

平成四年度になり、金沢氏が入退院を繰り返しておられるとのことで、病院と自宅へ出向き、お元気になって、又、同友会活動で金沢氏の夢を実現できる八代街づくりをしましょうと話を致しました。今、思えば金沢氏は自分の死を覚悟されておられた様子であり、やり残した事があり残念であるお顔が、うかがえました。彦一さんのお店を通るたびに、金沢さんの事が思い出されます。

今、「鵬際」の平成3年号の4冊を読んでいます。その当時の金沢氏のお考えを再度読み返しています。ありがとうございました。

当時の専務理事 穴 倉 渉



3月例会は沖田八代市長をお招きしての八代市新総合計画の勉強会

スローガン

広域経済の発展と 豊かな自然との調和をめざす八代経済同友会

平成4年度代表幹事
梅野正行



平成4年と言う年はバブルの崩壊と共に、その基盤が脆くも崩れ去り、今やあらゆる産業が業績の下方修正を余儀なくされ、この業績悪化の波紋は地方への伝播が避けられない環境の中、将来を見通した活動展開を念願に上記のスローガンを作成し、常任幹事会、例会、委員会その他の行事が数多く開催され多数の出席者があった。1月6日私並びに池田、内田、熊川各副代表幹事、宮川常任会計幹事、伊藤専務理事、宍倉広報委員長7名にて熊本出水神社に於て祈願そして福島知事表敬訪問、幹線交通網の整備、特に臨港線の日も早い



各工場への挨拶回り

開通をお願いする。その後熊本経済同友会を訪問する。2月例会は在福岡アメリカ領事館の首席領事、エヴァンス、JRリヴィア氏をお招きして、「今後の日米関係」というテーマで開催した。要約すると国際主義と自由貿易路線の堅持による日米のグローバルパートナーシップの発揮、維持という事につきる。同じく2月「ヘルシーパル八代の夕べ」として県保険課長堀之内三男氏をお招きして懇談会開催、1月28日ヘルシーパル起工式あり。

3月第1例会は「暴力団対策法」について橋本署長よりこの新法を武器に暴力団を徹底的に取り締まるという力強い言葉が印象的。第2例会は高専の井上助教授をお招きして「クリーンエネルギーとソーラー自転車」と言うテーマでご講演、実演も行われた。日本人は工夫改良は得意ですが創造力、発明力にかけては諸外国に比べて非常に劣っている……。4月例会は熊日新聞前八代支社長の小串照彦氏をお招きして、「個性化の時代—これからの八代を考える」というテーマでご講演。厚生会館を大事に、土地のキーとなるリーダーがほしい……。5月第1例会はNTTの取締役九州支店長、三原種明氏をお招きして「NTT九州の課題」というテーマでご講演。企業メセナや新規参入企業との競合等……。第2例会は、「八代市及び近隣高等学校進路指導者懇話会」を開催、今年は工業系と商業系の二つのパートに分け二日間で実施、相互理解を深める。6月は公開例会「アメニティ環境シンポジウム92」を開催、基調講演はカヌー



新入会員の紹介風景
この前後の年から新入会員が飛躍的に増えた

イスト野田知佑氏をお招きする。パネルディスカッション「八代の水と球磨川を考える」入場者300名余。7月例会は松山文化課課長をお招きして、「大八代の街づくりに挑戦した加藤右馬允正方」についてご講演。8月例会は、「地方拠点都市整備法第1次指定を推進する集い」を、沖田市長始め県南の県議の先生方、商工会議所、青年会議所、高木富士川事務所の富士川所長ご臨席のもとで、私をふくめ4人で「パネルディスカッション」を開きました。8月29日には天草6町の青年部会並びに八代地方各種団体合わせて16団体による「八代天草架橋建設促進民間協力期成会」が沖田市長始め県、市議会の先生方多数のご臨席の中で調印式が行われ、不肖私が期成会会長に推される。9月第1例会は星子邦子先生をお招きして、「集客力と顧客満足を考える」というテーマでご講演。第2例会は学習院大学教授、波多野里望氏をお招きして、「日本の国際貢献とPKO」というテーマで

ご講演。9月22日には熊本八代経済同友会の合同懇談会を熊本ホテルキャッスルで行う。議題は九州新幹線、九州国際空港、地方拠点都市整備法、県企画開発部長松元崇氏により基本説明あり、大半は九州新幹線整備見直しに向けて「県民運動本部」を設置して具体策を練っていくと言う話合いでした。10月例会は熊本県生活部保険課長佐原幸雄氏をお招きして、「ヘルシーパルの現状と健康管理」につきご講演。11月公開例会は兼高かおる先生をお招きしまして、「兼高かおる世界の旅」のテーマでご講演。夢を世界へと馳せて入場者数950名と言う盛況でした。11月28日の臨時総会には福島知事を始め、沖田市長、県議会、市議会の先生方のご臨席を賜り感慨無量でした。来年はいよいよ30周年を迎えます。いろいろな事業計画案もできました。只前進あるのみです。

本年度の役員の方々、会員の皆様にはご協力を心から感謝申し上げます。



福島新知事を表敬訪問。後の絵は堅立南風画伯の作。絵になる風景です

いま翔きのとき
八代経済同友会
30周年記念事業

いま翔きのとき

八代経済同友会30周年記念事業

イースタンリーグ公式戦

『西武－対－巨人』

日 時 平成5年5月4日(火)

午前10時30分開場

午後0時30分試合開始

場 所 県営八代野球場

後 援 八代市

八代教育委員会

西武建設

5月4日プロ野球イースタンリーグ公式戦「西武－対－巨人」戦を昨年落成した県営八代野球場で開催しました。心配された天候も当日は五月晴れとなり汗ばむ中で、約7,000人の観衆を集めての対戦となりました。イースタン戦とはいえ八代で公式戦が開催されるのはこれが初めてであり、市民の皆さんには野球の醍醐味を十分に堪能して貰えたものと思います。松井選手が来なかったのは残念でしたが、試合は八代工出身の柏田投手の好投もあり巨人の勝利でゲームセットとなりました。



いま翔きのとき

八代経済同友会30周年記念事業

記念式典・記念祝賀会

● 記念式典

日 時 平成5年7月9日(金)

午後7時～午後6時07分

場 所 ホワイトパレス出雲

● 記念祝賀会

日 時 平成5年7月9日(金)

午後6時20分～午後8時20分

場 所 ホワイトパレス出雲

7月9日ホワイトパレス出雲にて記念式典並びに祝賀会を挙行政しました。式典には福島熊本県知事、沖田八代市長をはじめ関係各官庁、熊本経済同友会、天草経済同友会、或いは四大工場を中心とした地元経済界からもご出席頂き盛会裡に終了しました。突然の国会解散となり、選挙戦最中の式典となりましたが、慌ただしいなか渡瀬代議士もお祝に駆けつけられた他、懐かしい坂田元衆議院議長のお顔もあり、お招きした歴代代表幹事の皆様方とも久し振りに歓談に花が咲きました。



いま翔きのとき

八代経済同友会30周年記念事業

自主制作番組

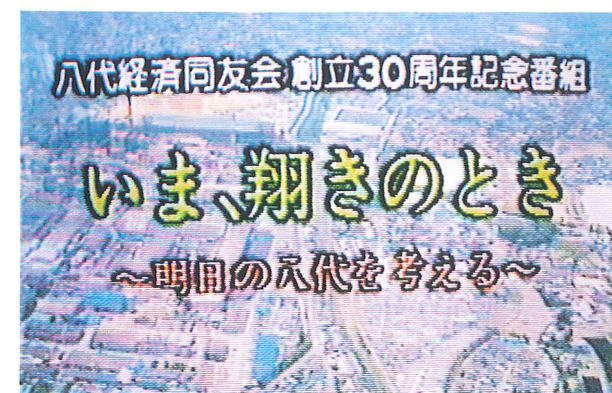
『いま翔きのとき』

放映日時 平成5年8月15日(日)

午後4時30分～5時24分

場 所 熊本放送(RKK)

お盆休みの8月15日、RKKテレビで「いま翔きのとき」を1時間番組で放送しました。この番組は単に八代を紹介するだけではなく、八代の今後に向けての提言を盛り込んだ内容でまとめ、同友会の今後の指針ともなるべき放送であったとも言えました。市民からも大きな反響があり、9月22日にも再放送されましたが、民放では異例のコマーシャルなしの番組とあって、トイレにいく時間もなかったとの苦情(?)が寄せられました。



いま翔きるとき

八代経済同友会30周年記念事業

八代街づくりシンポジウム

日 時 平成5年9月29日(木)
午後7時開演～午後9時30分

場 所 八代厚生会館大ホール

テーマ 「県南拠点都市を目指して」

パネラー 高瀬 泰之氏(熊商大経済学部教授)

パネラー 中村 良三氏(西武建設常務取締役)

パネラー 神園喜八郎氏(八代青年会議所理事長)

パネラー 香山真理子氏(RKKアナウンサー)

コーディネーター 上村憲助

市民100名参加方式の

パネルディスカッション

9月29日八代市厚生会館で「八代街づくりシンポジウム」を開催しました。テレビ番組「いま翔きるとき」が見るだけの内容でしかないで、市民の皆さんにもともに参加して貰う事を前提に企画しました。その手段としてトータルアナライザー装置を準備して市民100名の意見も取入れながらのパネルディスカッションにしましたが、機械の調子が悪く急遽電気式から手動式で回答して貰う方法に切り替えるご愛嬌もありました。従来のパネルディスカッションからは一歩踏み出した新しい討論のやり方が開発されたのではないかと思います。



いま翔きるとき

八代経済同友会30周年記念事業

記念講演会

『俵 孝太郎』講演会

演 題 「いま、何が国民の
問題とされているか」

日 時 平成5年10月22日(金)
午後7時開演

場 所 ホワイトパレス出雲

30周年記念事業のトリとして10月22日ホワイトパレス出雲にて、評論家の俵孝太郎氏をお招きして記念講演会を開催しました。今年は宮沢内閣不信任に端を発して自社両党による55年体制が崩壊、連立政権の樹立と言う政界にとっては激動の年となりましたが、「いま国民に何が求められているか」のテーマのもと、細川政権の行方等タイムリーな話題について舌鋒鋭い語り口で、予定の時間を1時間余りもオーバーしての大熱演となり、900名を越す満員の会場からも盛んな拍手が送られました。



八代経済同友会アンケート調査結果

① 目的

八代経済同友会では30周年記念事業として、30周年実行委員会を中心に、提言を盛込んだテレビ番組「いま翔きのとき」を8月に放送、9月には「八代街づくりシンポジウム」を開催し街づくりへ向けて事業を行った。今後継続してこの事業を推進させるに当たっては、広く一般市民の意識調査を行い、そのニーズを反映させて行く事が重要であると考え、その為にアンケート調査を企画した。一方商業委員会では本年度事業として、八代商店街の今後のあり方を主体にした商業意識調査を企画しており、今回この両企画を合同で実施した。

② 配布方法

9月29日に開催した「八代街づくりシンポジウム」の来場者（約580名）に配布すると共に、同友会会員が手分けしてアンケート用紙を配布した。回収は、いずれも料金受取人払いの封書を利用して全数郵送にて行った。

③ 調査期間 平成5年9月29日～10月31日

④ 配布数 2,500

⑤ 回答数 721

⑥ 回収率 28.8%

⑦ 回答者の内訳

※性別

男性	387 (53.7%)
女性	290 (40.2%)
不明	44 (6.1%)

※年齢別

30才未満	118 (16.4%)
30才以上	165 (22.9%)
40才以上	186 (25.8%)
50才以上	127 (17.6%)
60才以上	86 (11.9%)
不明	39 (5.4%)

※職業別

農漁業	12 (1.7%)
公務員	69 (9.6%)
自営	74 (10.3%)
会社員	376 (52.1%)
無職	92 (12.8%)
その他	51 (7.1%)
不明	47 (6.5%)

※居住年数別

10年未満	96 (13.3%)
10年以上	78 (10.8%)
20年以上	138 (19.1%)
30年以上	129 (17.9%)
40年以上	125 (17.3%)
50年以上	84 (11.7%)
不明	71 (9.8%)

⑧ 集計上の注意

- ・集計結果は全てパーセントで表している。2つ回答する質問については合計が200%になる。
- ・集計結果で「無回答等」とあるのは、無回答か指定された回答数以上に○をつけてあった為に集計できなかったものの合計である。(2つ回答する質問で、1つだけ○がついているものはその回答を有効とし、もう一方は「無回答等」で処理をした。)

アンケート調査結果概要

まず農業面についてだが、八代市に与える影響度については、市民の大半(80%)は貢献度が高いとの評価をしており、農業従事者に特にその意識が強く出ている。コメの自由化については、あらゆる層の人が自由化やむなしと考えているが、農家にとってはかなりの影響がある様であり心配される。

工業面については、81.7%が企業誘致の推進に期待しており、また87.4%が地場企業に助成すべきであるとの考えである。設問22からも分かるように、八代の工業化を重視すべきとの意見が多く、企業誘致と地場企業育成の両面からの工業化への期待が感じられる。

商業面では、中心商店街は今のままでは集客力がないとの意見が強い。その理由として店舗或いは街並みに魅力がないとの意見が67.8%と大勢を占めており、今後改善すべき点が多いようである。車社会の中での商店のあり方については、82.9%が現在の対応では良くないと考えており、32.2%が“駐車場不足”、26.8%が“車を進入しやすくする”をその理由に掲げており、特に地元近郷の人は駐車場に不便を感じている様である。また高級品の購買については45.9%が熊本市内であり、八代市内専門店の34%を上回る結果が出ている。一方日用品については54.2%が市内スーパーとの回答が寄せられた。八代市の大売出しについては、市民は殆ど魅力を感じていない様で一工夫必要な様である。今回の調査では新幹線の開通や交通網の整備と共に、熊本博多方面へと一段と人の流れに弾みがつく事が心配される結果であり、早く市民の望むものを何か一つでも目に見える形で実現しなければ、いよいよ魅力に乏しい街となり、買物客の流出が深刻化する事が懸念される。

交通網の整備面では、新幹線については市民の半数が早期実現を望んでいるが、完成後の八代への利益については“何ともいえない”或いは“期待できない”が49.9%と半数を占めている。一方天草架橋の必要性については、早期実現を望む人が1/3を占め、時間がかかっても実現を期待する人を含めると60.5%が待望論である。完成後の八代への利益については“大変”と“ある程度”を合わせると61.8%が期待しており、新幹線より実現を期待されている様に思われる。

八代城の復元については、“時間をかけて根気よく運動”との意見が一番多く、次いで“あまり必要性を感じない”となっている。しかし市民の66.5%が寄付の意向を示しており、全体の平均寄付金額も5,655円となっており市民の熱意が感じられる。

娯楽施設面については、その場所として34.1%が球磨川駅跡地を最適としており、次いで25.4%がニュー加賀島地区を望んでいる様である。そしてその施設については50.6%が遊園地を望んでいる反面、球磨川駅跡地には“交通センターを含む複合ビル”を期待する意見が約30%を占めている。ニュー加賀島については遊園地が37.5%、緑地公園が25.4%となっている。

以上のデータと文章部分の意見をまとめて考えると、特に娯楽施設の充実を待望する意見を始め、八代市民は現状に必ずしも満足していない事が窺われる。八代の活性化の為には、市外からの人の流入策を講じる事が不可欠であり、それにより八代は県南拠点都市としての発展が期待されるが、その前にまず市内からの流出を食い止める対策が火急を要するのではないだろうか。その方策如何によっては、八代の経済界は、今後益々苦難の道を歩まなければならないのではないかと思われる。

質問と回答結果

①. 八代の農業生産高は日本でも有数ですが、農業が八代の経済にどの程度貢献しているとお考えでしょうか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① たいへん貢献している 37.2% | ② まあまあ貢献している 45.4% |
| ③ どちらとも言えない 11.2% | ④ 余り貢献していない 4.6% |
| ⑤ ほとんど貢献していない 1.0% | ⑥ 無回答等 0.7% |

②. コメの自由化が叫ばれていますが、どのようにお考えですか。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 積極的に開放すべき 9.6% | ② 開放するのも止むを得ない 44.7% |
| ③ どちらとも言えない 16.8% | ④ なるべく開放すべきでない 18.6% |
| ⑤ 絶対開放すべきでない 10.0% | ⑥ 無回答等 0.4% |

③. もしコメが完全自由化された場合、八代の農業にどの程度影響すると思われますか。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ① 大きく影響する 11.1% | ② かなり影響する 42.7% | ③ 何とも言えない 20.7% |
| ④ 余り影響しない 23.9% | ⑤ 全く影響しない 0.7% | ⑥ 無回答等 1.0% |

④. 八代には外港の工業用地が完売となった為に工業用地がありません。今後の発展の為に工業用地を確保して企業誘致を進めるべきだと思われますか。

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------|
| ① 用地を確保して積極的に進めるべき 42.6% | ② 用地の確保ができれば進めるべき 39.1% | ③ 何とも言えない 7.4% |
| ④ これ以上は余り進めるべきでない 7.8% | ⑤ もう必要ない 2.9% | ⑥ 無回答等 0.3% |

⑤. 地場企業の育成についてどの様に思われますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 積極的に助成すべき 58.1% | ② ある程度助成すべき 29.3% |
| ③ 何とも言えない 8.2% | ④ あまり助成の必要はない 2.5% |
| ⑤ 全く助成の必要はない 1.5% | ⑥ 無回答等 0.4% |

⑥. 八代市の現状について

A) 現在の八代市に愛着を感じますか。

- | | | | | | |
|----------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (1 大変感じる 26.5% | 2 感じる 38.8% | 3 普通 26.4% | 4 感じない 4.4% | 5 魅力なし 2.9% | 6 無回答等 1.0% |
|----------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

B) 八代市での生活に満足していますか。

- | | | | | | |
|---------------|--------------|------------|------------|--------------|-------------|
| (1 大変満足だ 6.0% | 2 まあ満足 36.5% | 3 普通 36.6% | 4 不満 16.4% | 5 大変不満だ 2.5% | 6 無回答等 2.1% |
|---------------|--------------|------------|------------|--------------|-------------|

a. 満足なところは

イ 人情味がある 7.4%

b. 不満なところは

イ 他人の事に干渉しすぎる 6.8%

- | | |
|-----------------|----------------|
| ロ 環境がよい 22.1% | ロ 遊び場がない 29.7% |
| ハ 物価が安い 6.7% | ハ 人口が少ない 7.5% |
| ニ 生活がしやすい 26.5% | ニ 交通が不便 10.0% |
| ホ その他 ()2.9% | ホ その他 ()4.6% |
| ヘ 無回答等 34.5% | ヘ 無回答等 41.4% |

C) 市政に関心がありますか。

- | | | | | | |
|------------------|---------------|------------|------------|-------------|-------------|
| (1 大変関心がある 25.0% | 2 関心がある 37.4% | 3 普通 31.1% | 4 無関心 4.3% | 5 関係なし 1.0% | 6 無回答等 1.2% |
|------------------|---------------|------------|------------|-------------|-------------|

a. 関心があるわけ

- | |
|---------------------|
| イ 八代市をよくしたいから 21.8% |
| ロ 自分の住む街だから 40.4% |
| ハ 将来の子孫のために 8.2% |
| ニ なんとなく 2.5% |
| ホ 無回答等 27.2% |

b. 関心がないわけ

- | |
|----------------------|
| イ 忙しくて考える暇がない 5.5% |
| ロ 自分に関係がないことだから 2.6% |
| ハ わからない 7.1% |
| ニ なんとなく 4.4% |
| ホ 無回答等 80.3% |

D) 市政への要望 (2つ選んで下さい)

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| イ 交通網の整備 31.3% | ロ 福祉の充実 19.7% | ハ 公害問題 10.1% |
| ニ 地下水の保全 10.1% | ホ 保健衛生施設 3.5% | ヘ 国際化対策 3.7% |
| ト 高度情報化対策 4.4% | チ 女性の地位向上 3.6% | リ レジャー施設 39.1% |
| ヌ 子供の遊び場 13.5% | ル 観光施設 29.4% | |
| ヲ その他 ()4.2% | ワ 無回答等 27.3% | |

⑦. 現在考えられている幹線交通網が完成した後～

A) 人の流れはどうなるだろうか。

- | | | | |
|-----------------|---------------|----------------|-------------|
| (1 流入してくる 19.3% | 2 かわらない 46.2% | 3 流出していく 33.4% | 4 無回答等 1.1% |
|-----------------|---------------|----------------|-------------|

B) もし流出するとしたらなぜでしょうか。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| イ 娯楽施設がない 31.8% | ロ 子供といく所がない 10.5% |
| ハ 市内の道路がわかりにくい 3.3% | ニ 駐車場が少ない 6.5% |
| ホ 商店街に商品が少ない 9.2% | ヘ その他 ()5.1% |
| ト 無回答等 33.6% | |

C) 現在の中心商店街に、今のままで人が集まるでしょうか。

- | | | | |
|----------------|---------------|----------------|-------------|
| (1 集中してくる 2.1% | 2 かわらない 25.5% | 3 減少していく 71.0% | 4 無回答等 1.4% |
|----------------|---------------|----------------|-------------|

D) もし減少するとしたら原因はどんな事でしょう。(2つ選んで下さい)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| イ 営業時間が短い 18.6% | ロ 高級品が少ない 5.3% |
| ハ 他に比べて価格が高い 6.9% | ニ アフターサービスが悪い 3.1% |

ホ 店に魅力がない	33.3%	ヘ 接客サービスが悪い	4.0%
ト 従業員のマナーが悪い	2.9%	チ 品揃えが少ない	16.1%
リ 街並に魅力がない	34.7%	ヌ イベントが少ない	13.2%
ル ショッピングを楽しめない	17.2%	ヲ デート気分でショッピングができない	3.9%
ワ その他	3.1%	無回答等	37.9%

E) 車社会の中で商店の在り方も変化すると考えられますが現在の対応でよいか。

(1 よ い	2 よくない	3 わからない	4 無回答等)
3.3%	83.1%	12.8%	0.8%

F) もし良くないとすれば、どうすれば良いか。

イ 駐車場を増やす	32.5%	ロ 車が進入しやすくする	27.0%
ハ バスの便利を良くする	6.4%	ニ 郊外に出店する	10.3%
ホ その他 (	2.8%	ヘ 無回答等	21.1%

G) あなたが高級品を買うとすればどんな所ですか。

(1 市内専門店	33.8%	2 郊外店	1.7%	3 近所の店	1.5%
4 熊本市内	45.8%	5 福岡	4.3%	6 通信販売	1.2%
7 無回答等	11.7%				

H) あなたが日用品を買うとすればどんな所ですか。

(1 市内スーパー	54.0%	2 専門店	6.4%	3 近所の店	12.6%
4 郊外店	9.6%	5 コンビニエンス	2.9%	6 熊本	0.7%
7 生協	1.8%	8 無回答等	12.1%		

I) 八代の大売り出しについて

(1 魅力的だ	2 魅力を感じない	3 必要ない	4 わからない	5 無回答等)
12.2%	66.7%	6.1%	14.0%	1.0%

J) 大売り出しの景品にはどんなものが魅力ですか。

(1 旅 行	23.7%	2 歌謡ショウ	3.9%	3 豪華景品	17.2%
4 高額賞金	37.3%	5 その他	8.2%	6 無回答等	9.7%

⑧. 魅力ある街づくりのためには、どの様にすれば良いと思われますか。

ご意見をお聞かせ下さい。

{ 省 略 }

⑨. 八代の人口規模についてお尋ねします。

① 人口にはこだわらない	26.1%	② 現状で可	11.9%	③ 12~13万	7.1%
④ 15万程度	24.8%	⑤ 20万程度	28.7%	⑥ 無回答等	1.4%

⑩. 九州新幹線の必要性についてお尋ねします。

① 一日も早い実現が望まれる	48.0%	② 時間が掛かっても根気良く運動	15.7%
----------------	-------	------------------	-------

③ 何とも言えない	9.6%	④ 余り必要性を感じない	21.9%
⑤ 全く必要性を感じない	3.6%	⑥ 無回答等	1.2%

⑪. 九州新幹線が完成した場合、八代にとっての利益をどの様にお考えですか。

① たいへん期待できる	13.0%	② まあまあ期待できる	33.3%
③ 何ともいえない	22.1%	④ 余り期待できない	27.6%
⑤ 全く期待できない	3.7%	⑥ 無回答等	0.3%

⑫. 八代天草架橋の必要性についてお尋ねします。

① 一日も早い実現が望まれる	32.9%	② 時間が掛かっても根気良く運動	28.0%
③ 何とも言えない	18.2%	④ 余り必要性を感じない	15.7%
⑤ 全く必要性を感じない	4.7%	⑥ 無回答等	0.6%

⑬. 八代天草架橋が完成した場合、八代にとっての利益をどの様にお考えですか。

① たいへん期待できる	22.3%	② まあまあ期待できる	39.5%
③ 何ともいえない	18.9%	④ 余り期待できない	15.4%
⑤ 全く期待できない	2.6%	⑥ 無回答等	1.2%

⑭. 八代城の復元についてどの様に考えられますか。

① 一日も早い実現が望まれる	23.3%	② 時間が掛かっても根気良く運動	25.7%
③ 何とも言えない	16.9%	④ 余り必要性を感じない	24.7%
⑤ 全く必要性を感じない	7.8%	⑥ 無回答等	1.7%

⑮. 八代城の復元が可能となった場合、市民の協力が必要になると思われます。その場合、あなたは寄付金の要請に応じますか。金額もお書き下さい。

① () 円位までであれば寄付する 61.2% (全員の平均寄付額 5,655円)

② 寄付しない 32.9% ③ 無回答等 6.0%

⑯. 八代には家族揃って楽しめる施設が少ないと言われています。もし娯楽施設を作る場合、どこが最適だと思われますか。

① 日奈久地区	15.0%	② 球磨川駅跡地	34.3%
③ ニュー加賀島地区	25.9%	④ 日本セメント跡地	11.0%
⑤ その他 (	6.1%	⑥ 無回答等	7.8%

* 日本セメント跡地は現在も日本セメントの所有地となっており現段階では勝手に使える土地ではない事をお断りしておきます。

⑰. その場合の娯楽施設は何が良いですか。

① 遊園地	51.0%	② 動物園	3.5%	③ 水族館	13.3%	④ タワー	6.4%
⑤ その他 (	11.1%	⑥ 無回答等	14.7%				

18. 球磨川駅跡地に作る施設については、どの範囲から人が集まるような施設であるべきだと思いますか。その集客対象範囲をお尋ねします。

- ① 八代市内 4.2% ② 八代市郡 16.8% ③ 熊本県南 25.7%
④ 熊本県内 24.3% ⑤ 九州一円 26.2% ⑥ 無回答等 2.9%

19. 球磨川駅跡地には集客力のある施設を作ることになっていますが、あなたが望まれるのはどのような形態でしょうか。

- ① コンサートホールやイベント会場 23.7%
② 商業施設とイベント会場の複合施設 22.7%
③ 交通センターを含む複合ビル 29.1% ④ 球磨川の水を引込んだ文化施設 10.7%
⑤ その他 () 6.7% ⑥ 無回答等 7.1%

20. ニュー加賀島計画に作る施設については、どの範囲から人が集まるような施設であるべきだと思いますか。その集客対象範囲をお尋ねします。

- ① 八代市内 3.6% ② 八代市郡 10.3% ③ 熊本県南 16.0%
④ 熊本県内 26.4% ⑤ 九州一円 39.9% ⑥ 無回答等 3.9%

21. ニュー加賀島計画に盛込む施設をお尋ねします。

- ① 全部工業用地（緑地工場の誘致） 4.6% ② 工場用地と公園 20.4%
③ 全部遊園地 37.4% ④ 全部緑地公園 25.4%
⑤ その他 () 7.9% ⑥ 無回答等 4.3%

22. 将来の八代はどの分野での発展を希望しますか。

- ① 農業、工業、商業の順での発展を期待する。18.2%
② 農業、商業、工業の順での発展を期待する。12.2%
③ 工業、農業、商業の順での発展を期待する。21.2%
④ 工業、商業、農業の順での発展を期待する。24.7%
⑤ 商業、農業、工業の順での発展を期待する。9.0%
⑥ 商業、工業、農業の順での発展を期待する。12.1%
⑦ 無回答等 2.6%

23. 八代経済同友会ではこれまで藤本義一氏、加藤寛氏、兼高かおる氏などを年間1回招いて講演会を開催してきました。この講演会についてお尋ねします。

- ① たいへん評価できる 26.2% ② まあまあ評価できる 30.5%
③ 何とも言えない 31.9% ④ 余り評価できない 4.9%
⑤ 全く評価できない 2.2% ⑥ 無回答等 4.3%

24. 八代経済同友会では本年創立30周年を迎えましたが、その記念事業としてプロ野球イースタンリーグ公式戦「西武－巨人」戦を開催しました。あなたはこの事業が八代経済同友会の主催で行われた事をご存じでしたか。

- ① 野球があった事も、同友会の主催であった事も知っている 37.9%
② 野球があった事は知っていたが、同友会が主催した事は知らなかった 46.3%
③ 野球があった事を知らなかった 14.7%
④ 無回答等 1.1%

25. 八代でのプロ野球の開催についてお尋ねします。

- ① 一軍の公式戦ならば希望する 22.6% ② 一軍のオープン戦でも良い 48.3%
③ イースタン戦でも良いから対戦カードが良ければ毎年希望する 16.5%
④ イースタン戦でも良いから数年おきには希望する 3.2% ⑤ 希望しない 6.2%
⑥ 無回答等 3.2%

26. 今回の八代街づくりシンポジウムについてお尋ねします。

- ① たいへん良かった 14.8% ② まあまあ良かった 34.5%
③ 何とも言えない 37.7% ④ 余り良くなかった 3.5%
⑤ 全く良くなかった 1.8% ⑥ 無回答等 7.6%

27. 来年、第2回目の八代街づくりシンポジウムを開催するとしたら、あなたはいらっしゃいますか。

- ① 必ず参加する 12.3% ② できれば参加する 41.6%
③ 何とも言えない 30.2% ④ 多分参加しない 11.2%
⑤ 絶対参加しない 1.1% ⑥ 無回答等 3.5%

28. 地方拠点都市を知っていますか。

- ① 知っている 42.0% ② 知らない 51.7% ③ 無回答等 6.2%

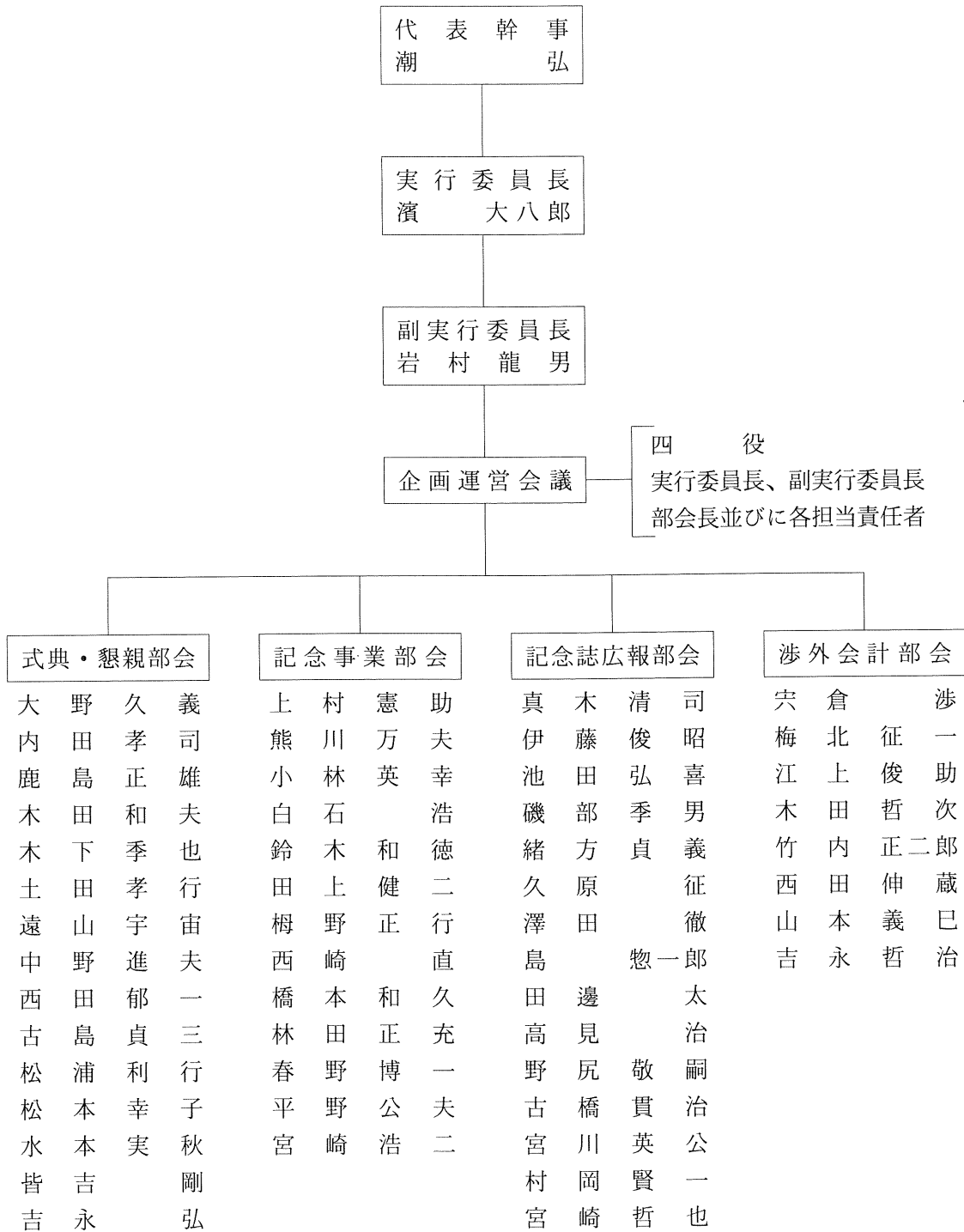
29. 拠点都市についてのご意見をお聞かせ下さい。

{ 省 略 }

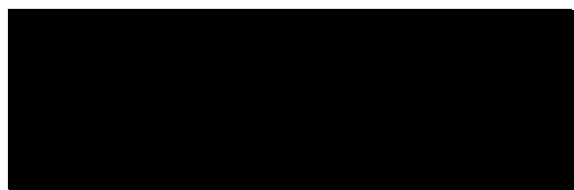
30. その他ご意見があればお聞かせ下さい。

{ 省 略 }

30周年実行委員会組織図



八代経済同友会
会 員 名 簿



資料編

會則・陳情書等

八代経済同友会会則

1. 名 称 本会は八代経済同友会と称する。
2. 目 的 本会は経済活動を中心とした地域開発の推進と地場企業の振興を図ることを目的とする。
3. 会 員 の 資 格 本会の会員は八代広域圏在住の経済人とする。
4. 会 友 等 本会の趣旨に賛同し、本会の活動に寄与する学識経験者を常任幹事会の承認を得て特別会員、専門委員又は会友とすることができる。
5. 役 員 本会に次の役員をおく。
 - 代表幹事 1名
 - 副代表幹事 3名
 - 専務理事 1名
 - 常任幹事 若干名
 - 幹 事 若干名
 - 会計監事 2名
 - 2 代表幹事は会を代表し、会務を統轄する。
 - 3 副代表幹事は代表幹事を補佐し、主要会務を分担する。
 - 4 専務理事は代表幹事を補佐し、日常会務を処理する。
 - 5 常任幹事は合議により会の運営を図るほか、各委員長、会計、その他の一般会務を担当する。
 - 6 幹事は幹事会を構成する。
 - 7 会計監事は会の会計を監査する。
 - 8 役員の選出にあたっては、別途「役員選出規程」による。
 - 9 役員の任期は1月1日から同年12月31日までの1年とし、再任を妨げない。役員に欠員を生じた場合の補欠役員の任期は、前任者の在任期間とする。
6. 顧問及び相談役 本会に顧問及び相談役をおくことができる。
 - ア. 顧問は常任幹事会の同意を得て代表幹事が委嘱する。
 - イ. 相談役は代表幹事経験者をもってあて、必要に応じ随時開催することができる。
7. 会 議 総会は定時総会と臨時総会の二種とする。
 - ア. 定時総会は毎年1月に開催し、臨時総会は随時開催することができる。
 - イ. 総会の議決事項は、予算、決算及び事業計画執行の承認、並びに役員選任、会則改正その他本会の運営に関する基本的事項とする。

- 2 幹事会は総会につぐ会議とし、本会の重要会務を議決する。
 - 幹事会は1月に開き、以後3ヵ月ごとに開催する。
 - 議決事項は次のとおりとする。
 - ア. 総会の議決事項のなかで、総会の委任を受けた事項。
 - イ. 総会に提出する議案のうち、会則の改正、予算、決算に関する事項。
 - ウ. 総会の議決を要する事項で急施を要するもの。
 - エ. その他、代表幹事が必要と認めた事項。
- 3 常任幹事会は毎月1回開催する。
- 4 代表幹事または常任幹事会が必要と認めたときは、臨時に会議を開催することができる。
- 5 総会の議長は総会で選出する。
- 6 総会を除く各会議の議長は代表幹事があたる。
8. 例 会 本会の目的達成に必要な事項の研究と、会員の親睦を図るため毎月1回程度の例会を開催する。
9. 委 員 会 本会の目的達成に必要な事項を専門的に研究し、これを促進または実施するため、代表幹事は常任幹事会の承認を得て複数の委員会をおくことができる。
10. 事 務 局 事務局に事務局職員をおく。
11. 経 理 本会の収入は入会金、会費、特別会費、寄付金その他の収入をもってあてる。ただし、特別会員、専門委員並びに会友からはこれを徴しない。
 - 入会金 50,000円 会費 年額 54,000円
 - 2 会費は前期と後期に等分し、前期は1月末、後期は7月末までに払い込むものとする。ただし、会員は一括または繰り上げて払い込んでもさしつかえないものとする。
 - 3 新しく入会する者の会費は月割りで計算する。
 - 4 既納の会費は理由の如何を問わず返却しない。
 - 5 各期の会費の払い込みが5ヵ月以上遅れている会員には、会員の資格を一時停止することができる。
12. 加入および脱退 新会員の入会にあたっては、会員2名の推薦に基づき幹事会の承認を得るものとし、別途細則の定めるところによる。
 - 2 会員は次の場合退会するものとする。
 - ア. 退会を届け出たとき。
 - イ. 幹事会において会員として不適当と認めたとき。
13. 会 計 年 度 会計年度は、毎年1月1日から12月31日までとする。
14. そ の 他 会則に規定のない事項は、総会または幹事会において決定する。
15. 附 則 本会則は平成2年1月1日から適用する。

1 〈細 則〉

入 会 に つ い て

1. 会員の資格について「八代広域圏在住の経済人」とあるのは、八代市郡に居住する地場産業の経営者（個人又は法人の役員）又はこれに準ずる者。ただし、出先機関の長にあっては、市・郡を単位として管轄する地位にある者としします。
2. 同一企業内の会員交替については、代表幹事宛の届け出が必要です。その場合、入会金は不要としします。
3. 入会申し込みに当たっては、会員2名（うち1名は常任幹事以上）の推薦を必要としします。
4. 入会申込書は所定のものが事務局に備えてあります。
5. 構成員の上限は250名としします。
6. 細則の改廃については幹事会の決するところによります。

〈附 則〉

八代経済同友会役員選出規定

1. 次年度代表幹事の選出に当たっては、10月10日までに「推薦委員会」を設置する。
2. 「推薦委員会」は、代表幹事経験者及び四役で構成し、代表幹事がその委員長となる。
3. 「推薦委員会」は、出席者の過半数で決定する。可否同数のときは委員長の決するところによる。
4. 「推薦委員会」から推薦を受けた代表幹事候補は、先ず、次年度の役員候補として副代表幹事と専務理事を指名、次に、これら役員と協議して、幹事、会計監事及びその幹事のなかから委員会の委員長（常任幹事）ならびに常任会計幹事をそれぞれ指名する。
5. 次年度の役員候補者は、11月中旬開催の臨時総会で承認を受けなければならない。
6. 本規定の改廃は幹事会の決するところによる。

過去5年間に亘る（昭和63年～平成5年12月）

八代経済同友会が関係各所に提出した陳情書一覧

陳 情 書

「九州自動車道八代―人吉間複線化工事の早期着工について」

私達八代経済同友会は結成以来二五年、八代市を熊本県の南部の拠点都市として発展させるべく、様々な提言、活動を行って参りました。

さて、難工事を重ねました九州自動車道八代―人吉間もいよいよ来年度には開通の運びとなり、南九州の産業振興、観光開発などの経済諸活動浮揚が大いに期待されるところであります。

ことに八代市は、県南の拠点都市であり、中南九州の最重要な交通の結節点であることは、新幹線八代駅設置を始め、建設省の八代―鹿児島南九州高規格道路が八代インターを起点としていることや、八代・天草架橋が現実性を帯びた問題として検討され出したことなどを考えましても明らかです。

しかしながら、将来の南九州全域の発展、更に八代が真の意味の県南、中南九州の核として雄飛するためには、ここを一大結節点とする九州高速自動車道が対面交通となる二車線だけではいかにも片手落ちであり、一方向二車線、上り線下り線併せて四車線の確保が強く望まれるところです。

尚、現在の八代地方を取り巻く経済環境は誠に厳しいものがあり、高速自動車道の開通を手放して喜んではられません。その完成の暁には、日本を縦断する連続高速自動車道体系の最南端として全国的に知名度の高い八代市が、単なる一つのインターチェンジ、通過点になってしまう懸念すら存在しております。また、219号線の交通量が減少することによって生じる沿線の経済基盤沈下から、そこを商圏として持つ八代市の経済活動に大きな影響が生じて参ります。

しかし、ここで高速自動車道の建設が、単線開通後も引き続き継続されとなると、その経済波及効果は投資額の二倍とも三倍とも言われており、それは当面の八代地方の経済活動活性化に直結するのみならず前記のビッグ・プロジェクトに具体的な弾みが付くことは明白であります。

以上述べました理由から、九州高速自動車道八代―人吉間複線化工事早期着工を強く陳情申し上げる次第です。

昭和六三年四月八日

八代経済同友会
代表幹事 島 惣一郎

八代市長 木村健一殿

陳 情 書

「八代臨港線早期開通に伴う八代インター付近の用途地域見直しについて」

仲秋の候、益々ご清栄のことと御拝察いたします。

さて、私達八代経済同友会は結成以来、八代市を熊本県南の拠点都市として発展させるべく様々な提言、活動を行って参りました。昨年、細川熊本県知事より八代地域の振興として、一〇大プロジェクトの計画・実施を發表されました。その中で八代臨港線の昭和七十年（平成六年）完成を示されたことは、工事着手以来十六年、遅々としての工事進捗に今後の見通しができ、県南運動公園計画はもとより十條製紙八代工場の生産五十%アップ等による交通量の増加が見込まれ八代市内の交通状況及び経済活性化に大きく寄与するものと思われまます。

幸いにして九州自動車道八代―人吉間も今年十二月初めに開通の予定と聞き及びます。八代臨港線開通の暁には、八代インターの交通拠点としての使命はより重要なものとなる事は必至であり、すし、インター周辺の八代市経済に重大な要素になるものと思われまます。現在の農振地除外はもとより流通拠点（トラクタターミナル地）基地及び商業拠点との調和のとれた土地利用計画をすみやかに検討いただきたく提言申し上げる次第です。

平成元年 十月 三日

八代経済同友会
代表幹事 木村 盛 好

八代市長 木村 健 一 殿

平成 3 年 3 月 15 日

熊本県福祉生活部
保険課長 堀之内三男殿

八代経済同好会
代表幹事 金沢登喜
八代経済同好会
代表幹事 金沢登喜

謹啓 早春の候、貴台におかれましては益々ご精励のこととお慶び申し上げます。

当市に建設（予定）される仮称『ヘルシーパル八代』についてはかねてより当会では誘致に尽力してまいりましたが、建設後の円滑な運営についても全力を挙げてご協力申し上げる考えであります。

当会では魅力ある施設を作っていただくため、18名の会員をもって去る2月16日『ヘルシーパル船小屋』を視察させていただきました。

視察の後、検討会を開催しました結果、仮称『ヘルシーパル八代』の施設について、会員より下記のと通りの意見があがり、当会よりの要望事項としてご提出申し上げる次第であります。運営が円滑に運ばれるためにはどうしてもこれだけは欲しいとの願いを込めたものであります。すべてご採用になれないかも知れませんが、出来るだけのご配慮を賜りますようお願いいたします。

敬 具

要 望 事 項

- ①サウナの設置 : 発汗作用による健康維持を目的とし、健全な環境保持のため浴室内に作る。
- ②屋根付きゲートボール場 : 高齢化社会に向け、高齢者が常時ゲームが楽しめること、収益性向が良い。
- ③温水プール : 水泳は全身運動、四季を通じて利用できれば利用者は多い。
- ④健康器具(体力測定器具) : 専門のトレーナーを置くことによって正しい指導が受けられる。多種類の器械があれば効果があがる。
トレーニング器具(体力増進器具)及びトレーナーの常設
- ⑤宿泊施設にシングルルームを多く設置 : 健康維持訓練を兼ねて、ビジネスマンの宿泊にも気軽に利用させる。
- ⑥カルチャー講座 : 詩吟、日本舞踊、エアロビクス等最初は体の器官を使っでの動的で健康的な講座から。
- ⑦テニスコート(1面) : 硬、軟式両方使えるクレイコート。
- ⑧舞台(大広間) : 演能、詩吟、日舞等ができる最小限の広さがあればよいので是非設置願いたい。
- ⑨浴場(魅力的な展望風呂とし、最上階に設置) : 集客性はこれで決まる。温泉があれば最適なれど、風呂の種類に多様性を持たせて魅力を作る。ラドン泉を利用。
- ⑩レストランと喫茶 : 単なる食堂ではなく、いわゆるレストラン風のしゃれたものとする。
- ⑪娯楽室(マージャン室) : 宿泊客用に宿泊室の隅につくる。他の客の迷惑にならないようにするため。

番号は要望順位ではございません。単なる整理番号ですので、念のため申し添えます。

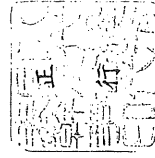
以上

八代城跡景観並びに高麗門復元に関する陳情

八代市松江町二九〇一一

八代経済同友会

代表幹事 梅 野



八代市長

沖田嘉典殿

八代城跡景観並びに高麗門復元に関する陳情書

一 要 旨

- ①八代城社の景観を良くする為に八代城の堀の美化に努めて頂きたい。
- ②八代城高麗門を復元して頂きたい。

二 理 由

①第二次大戦の敗戦から再出発した日本は、世界にも希な高度成長を遂げ、今や有数の経済大国になると共に、依然安定した成長を続け成熟社会を実現しました。その間、国民が追い求めてきたものも、物質的満足から精神的満足へと移り変わって来ております。そのような世相を反映して、近年八代市でも施設の充実等に意欲的に取り組んでおられ、私達としても心強く思う次第です。八代市の文教ゾーンと言われる八代城跡周辺も、周囲とのバランスを考えた斬新なデザインの図書館や博物館の建設、或いは道路のカラー舗装化により見違えるほど景観が向上しております。しかしながらその核ともいえる八代城跡は堀の水は濁み、非常に景観を阻害しております。八代は水と緑の町と言われております。母なる川球磨川と、竜峰山を始めとする緑豊かな自然により八代は育まれてきたと言えます。八代城跡の鬱蒼とした森、そして堀の水は八代を象徴すべきものでなければならぬと考えます。八代城

跡は四季折々に草花が咲き乱れ、訪れる人の心を和ませる数少ない憩いの場であります。堀端で無心に鯉に餌をやっている子供達を見ていると、湧水のごとく澄み切った堀であれば、どんなにか素晴らしいだろうと思います。

八代城跡周辺は、博物館の建設や城社公園コミュニティ広場の整備等により飛躍的に美化されてきておりますので、一段と堀の水が目立ち、正に画龍点睛を欠く状態であると思います。景観向上の為に、また市民の憩いの場の充実の為に、是非とも八代城の堀の美化に努めて頂きたいと存じます。この件、格別のご配慮を賜りますようお願いする次第です。

②当会では、数年来八代城天守閣の復元運動に取り組んで参りました。しかし天守閣復元の為には本格的な資料調査から始めなければならず、残念ながらこの運動も停滞致しておる状況です。現在は八代城跡研究委員会を発足させ、天守閣の復元に拘らず、八代城跡の総合的活用の観点から活動を行っております。八代城は、我が八代のシンボルであります。少しづつでも出来ることから城郭の保存と復元に努め、市民の心の故郷とも言うべき八代城を守り、築きあげて行かなければなりません。聞くところによりますと、八代城の本来の高麗門は、現在本成寺で使用されているとの事です。これが事実であれば、本来の門と全く同様の高麗門復元は十分に可能であります。是非事実の確認をして頂き、復元して頂きたいと思っております。

町の文化と歴史は、絶えずその時代の人々の努力により守り、伝え続けて行くべきものです。後世の人々に何を残し、何を伝えるか私達は真剣に考え取り組んで行かなければなりません。その第一歩として高麗門の復元を強く希望致す次第です。どうか当会の心情をお汲み取り頂きますようお願い申し上げます。

平成四年二月二十六日

地方拠点都市地域に八代都市圏を一次指定
いただきますよう陳情申し上げます。

平素より八代都市圏の諸事業の推進に格別のご高配を賜り
厚くお礼申し上げます。

お陰様で当圏域は、近年交通体系等の整備が急速に進んで
おり、私共、産業経済界としても、これからの八代都市圏の
飛躍的发展に大いに期待をいたしておりますと共に、一層の
自助努力を重ねて参らねばならないと決意を新たにいたして
いるところであります。

幸い、今回、地方拠点都市整備法が施行され、国土並びに
県土の均衡ある発展を基本とした地域指定が近々なされると
聞き及んでおります。

八代都市圏は、古くから熊本県南部における政治・経済・
文化の拠点地域として栄えて参りましたが、熊本都市圏を中
心といたします北部地域と比べ、あらゆる面での格差の存在
及び拡大が指摘されております。この格差是正のためにも、
当圏域が先導的役割りを果していくことが、周辺県南地域の
活性化にもつながるものと考えます。

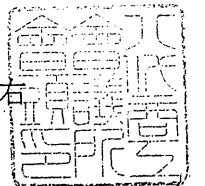
当圏域は、このような現状を踏まえ、県下第二の都市とし
てのこれまでの集積と交通の要衝としての「地の利」を生か

し、一層の都市基盤の整備及び産業業務機能の充実に努めれ
ば、より広域的発展につながる高次都市の建設ができるもの
と確信いたします。

については、地方拠点都市地域に八代都市圏を第一次指定い
ただきますよう陳情申し上げます。

平成 4 年 9 月 24 日

八代商工会議所会頭 岡本圭



八代経済同友会代表幹事 梅野正



(社)八代青年会議所理事長 野尻敬



八代城整備計画の策定並びに
その推進に関する請願書

要 旨

八代城の整備に関する専門機関を設立の上強力なる事業の計画と推進につき特段のご配慮を賜りますよう請願申し上げます。

理 由

八代市は県南の中心都市として発展を続けておりますが、その都市機能の内、交通体系については国家的プロジェクトとして新幹線の誘致又は九州縦貫高速道に続いて南九州西回り高速道の建設も漸次具体化しつつあります。更に八代臨港線道路も平成七年の完成を目指し工事が進められており、之等の高速鉄道、高規格道路の整備が進みますと八代の都市としての顔も可成り充実したものになるものと思われれます。之等交通体系の整備に符号して八代市の諸都市施設の整備も種々の対応がなされているものと考えております。

レインボー計画やニュー加賀島計画等の大型プロジェクトも緊急なる対応がなされるものと思われれますが、一方に於きまして先般八代城跡整備に関連し「八代城の復元は可能か」とのタイトルで熊大教授北野隆先生のご講話を頂戴致しました。

その内容を整理しますと

- 一 従来「お城」の在った都市は何処もその復元に意欲的である。福岡城、岡城、府内城、名護屋城、中津城、人吉城等々も然りである。
- 二 本物を求める事により、市民は「心の依り処」を求め又観光にも資される。

三 人吉は平成五年九月に櫓二棟と長堀を胸川と球磨川の合流点に復元完成させる。

四 八代城も史実に基づきその復元計画は技術的にクリア出来ている。等々で非常に希望のふくらむものでありました。この他にも二の丸、三の丸、北の丸も含め出来るだけ従来の姿を求める為百年の大計を建て、この線に沿って空地の手当て等もやって欲しい旨のお話でしたが中々世の中の変化は早く、之等の思いとはかけ離れた方向に諸施設が作られるのが現状であります。

八代市では昭和六十二年に「八代城跡保存管理策定委員会」が設立され「八代城跡保存管理計画書」が出来上がり、その保存整備の理念と手法が詳しく記述されており、又建造物の復元についても八代城の特徴を最大限に發揮するようプランよく計画する必要がある旨記述されております。

私共八代経済同友会と致しましては観光施設の少ない本市において貴重なる城跡の整備により市の中心部に活力と求心力を強め、本物指向による市民の心の安らぎとその依り処を作り上げて行きたいものと希望するものであります。之等の計画は急々に進むものではありませんが永続的な努力が必要であり、前記「策定委員会」の意を帯し例えば仮称「県指定八代城整備委員会」などの設立によりその英知を結集し更なる事業の計画と推進を強力に実施致されますようお願い申し上げます。以上請願致します。

平成五年 月 日

八代市松江町二九十一

八代経済同友会

代表幹事 潮

弘

八代城整備計画の策定並びに
その推進に関する請願書

要 旨

八代城の整備に関する専門機関を設立の上強力なる事業の計画と推進につき特段のご配慮を賜りますよう請願申し上げます。

理 由

八代市は県南の中心都市として発展を続けておりますが、その都市機能の内、交通体系については国家的プロジェクトとして新幹線の誘致又は九州縦貫高速道に続いて南九州西回り高速道の建設も漸次具体化しつつあります。更に八代臨港線道路も平成七年の完成を目指し工事が進められており、之等の高速鉄道、高規格道路の整備が進みますと八代の都市としての顔も可成り充実したものになるものと思われれます。之等交通体系の整備に符号して八代市の諸都市施設の整備も種々の対応がなされているものと考えております。

レインボー計画やニュー加賀島計画等の大型プロジェクトも緊急なる対応がなされるものと思われれますが、一方に於きまして先般八代城跡整備に関連し「八代城の復元は可能か」とのタイトルで熊大教授北野隆先生のご講話を頂戴致しました。

その内容を整理しますと

- 一 従来「お城」の在った都市は何処もその復元に意欲的である。福岡城、岡城、府内城、名護屋城、中津城、人吉城等々も然りである。
- 二 本物を求める事により、市民は「心の依り処」を求め又観光にも資される。

三 人吉は平成五年九月に櫓二棟と長堀を胸川と琢磨川の合流点に復元完成させる。

四 八代城も史実に基づきその復元計画は技術的にクリア出来ている。

等々で非常に希望のふくらむものでありました。この他にも二の丸、三の丸、北の丸も含め出来るだけ従来の姿を求める為百年の大計を建て、この線に沿って空地の手当て等もやって欲しい旨のお話でしたが中々世の中の変化は早く、之等の思いとはかけ離れた方向に諸施設が作られるのが現状であります。

八代市では昭和六十二年に「八代城跡保存管理策定委員会」が設立され「八代城跡保存管理計画書」が出来上がり、その保存整備の理念と手法が詳しく記述されており、又建造物の復元についても八代城の特徴を最大限に発揮するようバランスよく計画する必要がある旨記述されております。

私共八代経済同友会と致しましては観光施設の少ない本市において貴重なる城跡の整備により市の中心部に活力と求心力を強め、本物指向による市民の心の安らぎとその依り処を作り上げて行きたいものと希望するものであります。

之等の計画は急々に進むものではありませんが永続的な努力が必要であり、前記「策定委員会」の意を帯し例えば仮称「県指定八代城整備委員会」などの設立によりその英知を結集し更なる事業の計画と推進を強力に実施致されますようお願い申し上げます。以上請願致します。

平成五年八月 日

八代市松江町二九十一

八代経済同友会

代表幹事 潮

弘

八代海灣岸道路（八代港―熊本港間）建設構想の推進について、早期実現に向け努力いただきますよう陳情いたします。

八代市ご当局におかれましては「活力とつるおいある都市創造」のため、かねてから各方面でご尽力を賜り衷心より感謝申し上げます。

お陰様で、八代市は九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道の高速交通網の整備が進む一方、海の玄関として八代港の充実強化がなされ、今や本市は九州における交通の要衝として陸に海に雄飛の門戸を開こうといたしております。

さらに、今回新しい施策であります地方拠点都市法による八代宇城地方拠点都市の指定がなされ、八代市は名実共に、熊本県における拠点都市としての地位を築こうといたしております。

このような大八代市の建設のためには、特に臨海部の開発が不可欠であります。幸い最大の公共岸壁であります5万トンバースの建設構想が樹立されようとしており、これにより大規模な臨海産業業務用地も生まれることと聞き及んでおります。

しかしながら、このようなポテンシャルを高めるためには、八代港の hinterland をより拡充することが必要であり、八代港と熊本港とを直結し、広く県民の港湾として位置付ける必要があるかと思われます。

したがって、八代港―熊本港を結ぶ仮称八代海灣岸道路を建設することにより八代海沿岸市町村の地域経済の波及効果も生ずるものと確信いたします。

また、この湾岸道路は八代宇城地方の一体化をもたらす重要な人・物・商流の幹線道路としての機能を果たすと共に既存の高速道路や構想であります熊本天草幹線道路とを結ぶことにより多大な相乗効果を生むものと思います。

私共経済界は、これらに大きな期待を抱き、熊本県南部地域の発展のため微力ながらご支援を申し上げたいと考えているところでございます。

つきましては、八代海灣岸道路建設構想の推進にご努力を賜りますよう陳情いたします。

平成五年九月二十二日

八代経済同友会

代表幹事

潮

弘

八代市長

沖田嘉典殿

陳 情 書

『地域産業支援センターの設置に関する陳情』

八代経済同友会は結成以来、八代市を県南部の拠点都市として発展させるべく様々な提言・活動を行って参りました。

従来、八代市は、豊富な球磨川の水、交通の拠点性を生かし、県下でも有数の工業都市として発展してきました。しかしながら、近年県内他地域の工業ハイテク化、ソフト化の動きに十分対応できず、県内における八代市の工業出荷額でのシェアは急激な低下を示しています。

即ち昭和三十九年(1964)二・三%の工業出荷額が平成二年(1990)では八・三%まで減少しており、生産構造の面からも、いまや八代市は工業都市とは称し難い存在になっております。

八代の工業発展、県の南北差を緩和するためにも、八代地域に『地域産業支援センター』とも称すべき拠点施設を整備することを懇請する次第であります。本センターは、研究開発機能、人材育成機能、情報提供機能を有するのみならずインキュベーター機能や地域企業の交通促進のためのオルガナイザー機能及びコーディネイターとしての機能を備えた総合的な多機能センターであり、県南部における地域産業の内発的発展を支援する中核機関としての役割を果たすものであります。

さらに本センターは、広く地域中小企業が活用しうるよう『県工業技術センターの分館』として設置されることを希望いたします。戦後一時期、県工業試験場が人吉分場、川尻分場を擁したように、お取り計らい戴きますよう強く陳情申し上げます。

平成五年十一月二十二日

八代経済同友会

代表幹事 潮

八代市長

沖 田 嘉 典 様



陳 情 書

日奈久再開発事業の中核として 多目的広場の整備について

平素は八代経済同友会の活動に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私共かねてより、行政当局の日奈久地区活性化のための埋立て事業、西回り高規格道路、更には、新日奈久港整備事業などにおける真摯なお取り組みにつきましては高く評価申し上げているところでございます。

日奈久再開発構想では、八代経済同友会におきましても、長年にわたりいろいろ検討を重ねて参りました。その結果私達は、日奈久町の将来のためには、日奈久温泉センター前から国道3号線まで、車道拡幅と現在の旅館街との均衡ある開発が不可欠であると認識しているところでございます。

温泉センター横を流れる湯之迫川までを『多目的広場』として開発することが最重要であるとの結論に達しました。

きたるべき二十一世紀を展望した日奈久温泉街を活性化するには、日奈久の中核となる拠点がどうしても必要となつてまいります。

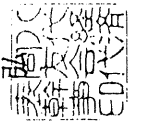
その拠点としての広場の誕生は、周りを温泉街にふさわしく整備することによって、明日の日奈久の発展に大きく寄与することと信じるものであります。

何とぞ趣旨をご理解頂きご検討を賜りますようここに陳情申し上げます。

平成五年十一月二十二日

八代経済同友会

代表幹事 潮



八代市長

沖 田 嘉 典 様

八市議第318号の2
平成5年12月17日

請願・陳情代表者
潮 弘 様

八代市議会議長
加 藤 忠 昭

八市議第396号の2
平成5年12月17日

請願・陳情代表者
潮 弘 様

八代市議会議長
加 藤 忠 昭

八市議第397号の2
平成5年12月17日

請願・陳情代表者
潮 弘 様

八代市議会議長
加 藤 忠 昭

陳情の審議結果について（お知らせ）

さきにあなたが提出されました下記陳情は、平成5年12月定例会で採択と決定し、市長あて送付しておきましたので、お知らせいたします。

記

1. 陳情第19号・仮称八代海灣岸道路建設構想の推進方について

陳情の審議結果について（お知らせ）

さきにあなたが提出されました下記陳情は、平成5年12月定例会で採択と決定し、市長あて送付しておきましたので、お知らせいたします。

記

1. 陳情第24号・日奈久温泉街活性化のための多目的広場整備方について

陳情の審議結果について（お知らせ）

さきにあなたが提出されました下記陳情は、平成5年12月定例会で採択と決定し、市長あて送付しておきましたので、お知らせいたします。

記

1. 陳情第25号・地域産業支援センターの設置方について

編集後記

「来年は経済同友会の30周年実行委員会を作って頑張ってゆこう」と言っていたよいよ本番の本年、6月には予期しなかった衆院の解散、総選挙等もあり、平行して一連の30周年の記念行事の消化。勿論仕事もしながらの事だから正直ここに向かっていても「この記念誌出来上がるかなあ？」と未だ半信半疑の状況だ。しかしこの過程で先輩の方々の苦勞も偲ばれたし、又その先見の明のある事、現実に対応して素早く動いている事等改めて感じ入った。

皆様も「30周年のあゆみ」をジックリ読んでいただきたいと思います。一方で30年の長きに亘る事だから「無理もない」と言ってしまうまでもだが、資料の散逸が甚だしい、特に写真や役員構成等は今回集めるのに苦勞した。来るべき40周年に向けて資料だけは保管保存して欲しいものだ。この作業が終わると40周年迄は同じような事をする機会は無いだろう。組織としての同友会は永遠に若い、個人としての私達は確実に齡を取って老いてゆく。老い込んでゆく前にもう一仕事、同友会の仲間と共にやりたいものだ。御批評をお待ちしています。

八代経済同友会創立30周年記念誌

平成5年12月28日発行

編 集 八代経済同友会
30周年記念誌広報部会

発 行 八代経済同友会
八代市松江町290-1
ホワイトパレス出雲内
TEL (0965) 32-5620

印 刷 クギヤ印刷株式会社
